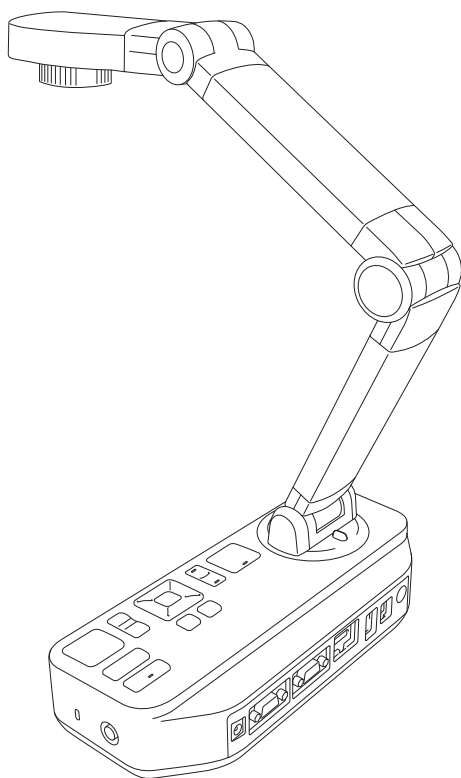


**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION

# ELPDC12 書画カメラ

## 取扱説明書





# 安全にお使いいただくために

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本機を安全に正しくお使いいただくために、本書をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保管してください。

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解いただいた上で本文をお読みください。

本書指定の使用温度範囲、保管温度範囲を守って使用・保管してください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

- 本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口、プロジェクターの排気口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
熱による変形や、内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 油煙やたばこなどの煙が当たる場所、ホコリの多い場所で使用・保管しないでください。
- 屋外や風呂・シャワー室など、水や雨のかかる恐れのある場所、湿度の高い場所で使用・設置しないでください。  
火災・感電の原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。  
水が中に入ったり、ケースが劣化し割れるなどして感電の原因となります。
- サービスマン以外の方は、『取扱説明書』で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。  
内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。
- 本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。  
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。
- 電源投入後は、LED ランプをのぞきこまないでください。
- 本機の隙間から金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。  
火災・感電の原因となります。

## 警告

- 次のような異常のときは、すぐに電源を切り、ケーブルを抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。  
煙が出ている、変な臭い、変な音がする。  
本機の内部に水や異物が入った。  
本機を落としたり、ケースを破損した。
- 同梱の専用 AC アダプター以外は、使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。
- AC アダプターは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。
- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。  
火災・感電の原因となります。
- めれた手で本機や AC アダプター、プラグを操作しないでください。  
故障や火災・感電の原因となります。
- 破損した電源ケーブルは、使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。取り扱いの際は、次の点を守ってください。  
電源ケーブルを加工しない。  
電源ケーブルの上に重いものを載せない。  
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。  
電熱器の近くに配線しない。
- 電源プラグの取り扱いには注意してください。  
取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。  
たこ足配線はしない。  
電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。  
電源プラグは根元まで確実に差し込む。  
電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグ本体を持って抜く。
- 雷が鳴り出したら、電源プラグに触らないでください。  
感電の原因となります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明などの障害の恐れがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- 小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。取り外した電池を小さなお子様の手の届く場所に放置しないでください。飲み込んだり、ノドに詰まらせることがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- 交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。
- 電池の+と-を逆にして使用しないでください。  
電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 種類の異なる電池、新しい電池と使用した電池、古い電池などを混ぜて使用しないでください。  
電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

## 警告

- 使い切った電池はすぐにリモコンから取り出してください。  
使い切った電池をリモコンにセットしたまま長時間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、リモコンを破損させるおそれがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合には、リモコンから電池を取り出してください。  
電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、リモコンを破損させるおそれがあります。
- 電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。  
電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破損したりケガや機器故障の原因となります。
- 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
- 電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。
- 本体にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、事故やけがの原因となります。  
ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

## 注意

- 高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、すべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。  
火災・感電の原因となることがあります。
- 裏面の固定ネジを使用する場合は、斜めにならないように固定してください。使用する場合は、2本のネジが確実に固定されているか確認してください。
- ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 空気の流れが悪く熱がこもる場所に設置しないでください。  
内部温度が上昇し、火災の原因になります。
- じゅうたんや毛布など布の上に設置しないでください。また、本機に布をかけて使用しないでください。  
内部温度が上昇し、火災の原因になります。
- 本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。また、支柱に無理な力をかけないでください、必要以上の大きな力をかけると破損の原因になります。
- お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケーブルを接続機器から抜き、配線をはずしたことを確認してから行ってください。  
感電の原因となることがあります。
- 本機を使い終わったら、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。  
絶縁劣化により、火災の原因となることがあります。
- 本機に飲み物などの液体をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。液体をこぼした場合には、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

## 注意

- 書画カメラの内蔵メモリーや USB メモリー、SD カード内のデータは必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 録画中やデータの転送中に電源ケーブルを本体から抜いたとき

- 録画中やデータの転送中に SD カード・USB メモリーを本体から抜いたとき

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき

- 誤った使い方をしたとき

- 故障や修理のとき

- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責任も負いません。

- 振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。



# もくじ

<b>安全にお使いいただくために</b> .....	2
<b>はじめに</b> .....	9
各部の名称 .....	10
リモコンボタン .....	15
書画カメラを保管する .....	17
書画カメラの保護 .....	18
<b>接続する</b> .....	19
プロジェクターに接続する .....	19
コンピューターに接続する .....	21
<b>投写する</b> .....	24
電源を入れる .....	24
印刷物などの資料を投写する .....	25
ホワイトボードなどを投写する .....	31
顕微鏡を通して投写する .....	32
注釈をいれる .....	33
表示する映像を切り替える .....	36
スクリーンを分割する .....	37
<b>映像の保存・スライドショーの表示</b> .....	39
画像を保存する .....	39
動画を保存する .....	40
保存したデータを転送する .....	43
コンピューターでファイルの閲覧・管理を行う .....	45
スライドショーを表示する .....	46
<b>映像の調整と効果</b> .....	49
オンスクリーンメニューを使用する .....	49

オンスクリーンメニュー一覧 .....	50
<b>同梱ソフトウェアを使用する</b> .....	56
ソフトウェアをインストールする .....	56
ソフトウェアを起動する .....	58
画像の注釈 .....	59
静止画像をキャプチャーする .....	60
間欠撮影する .....	61
動画を録画する .....	62
保存したファイルを編集する .....	63
保存したファイルを管理する .....	64
動画をアップロード・共有する .....	65
<b>困ったときは</b> .....	66
問題と対処方法 .....	66
エプソンプロジェクター連絡先リスト .....	70
<b>付録</b> .....	75
仕様 .....	75
著作権と商標について .....	77

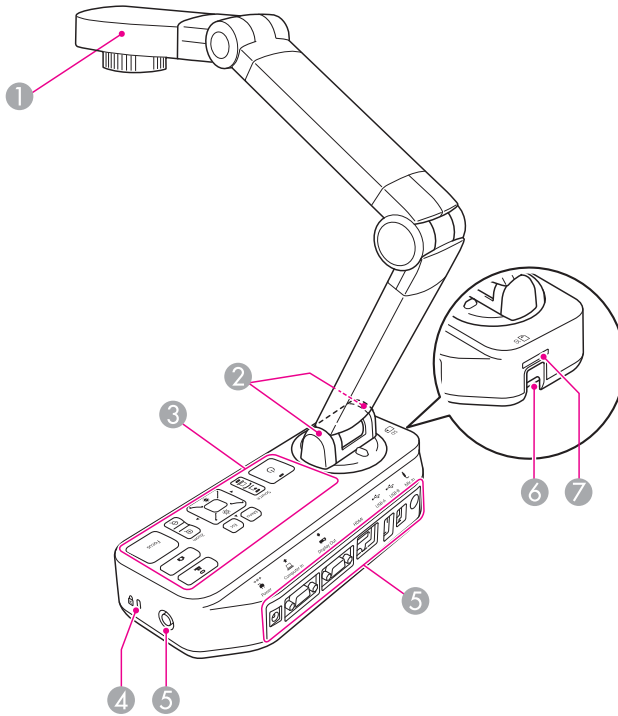


# はじめに

EPSON ELPDC12 書画カメラでは、書籍やその他のドキュメントのページ、さらに立体物をキャプチャーしたり、プロジェクターで投写できます。また、同梱のソフトウェアを利用すると、間欠撮影、書画カメラでキャプチャーした静止画像への注釈付加も行えます。

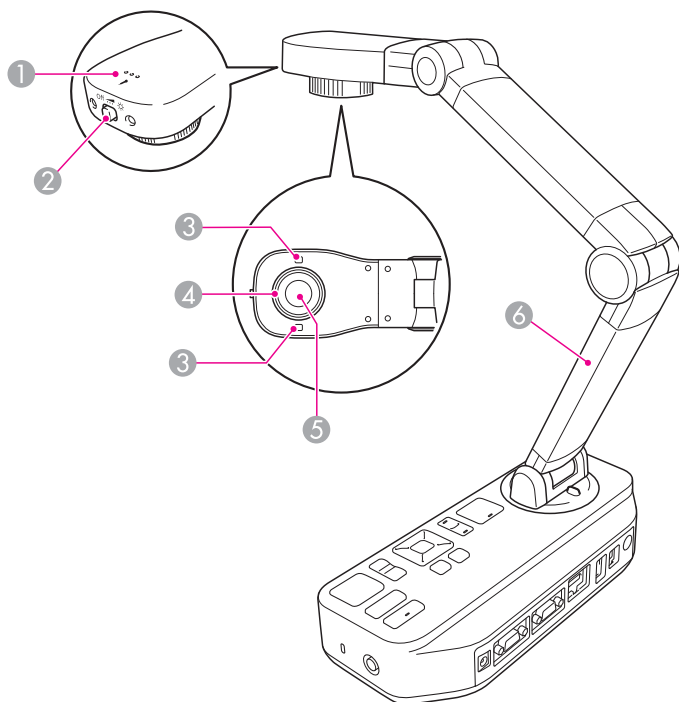
# 各部の名称


## 上面 / 側面 / 背面



名称	機能
① カメラヘッド	「カメラヘッド」 P.11
② リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
③ 操作パネル	「操作パネル」 P.12
④ セキュリティスロット	Kensington 社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。（「書画カメラの保護」 P.18）
⑤ インターフェイス	「インターフェイス」 P.13
⑥ セキュリティーケーブル取り付け部	市販のセキュリティーケーブルをこの部分に取り付けて、書画カメラを保護します。（「書画カメラの保護」 P.18）
⑦ SD カードスロット	SD カードに映像を保存したり、SD カード内の映像を表示します。（「映像の保存・スライドショーの表示」 P.39）

# カメラヘッド

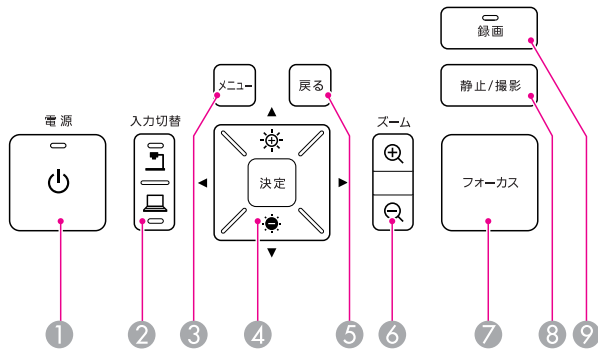


	名称	機能
①	マイク	動画録画時に音声を録音します。
②	[  ] LED ランプ スイッチ	LED ランプの点灯状態を、点灯（強）・点灯（弱）・消灯の 3 段階で切り替えます。
③	LED ランプ	投写する資料面の照度が十分でないときに点灯させます。
④	画像回転ダイヤル	投写した映像が± 90° 回転します。
⑤	カメラレンズ	映像を取り込む部分です。
⑥	支柱	支柱を伸縮させて、カメラヘッドの高さを調整します。

## ⚠ 注意

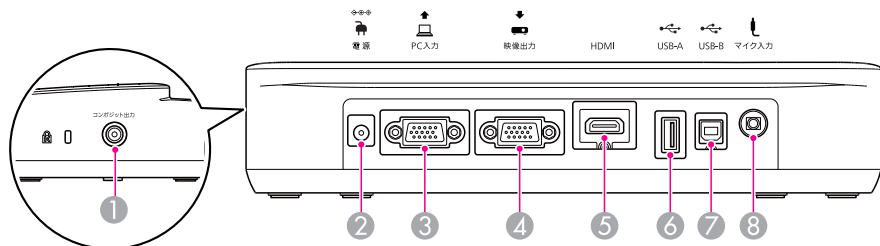
レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

# 操作パネル



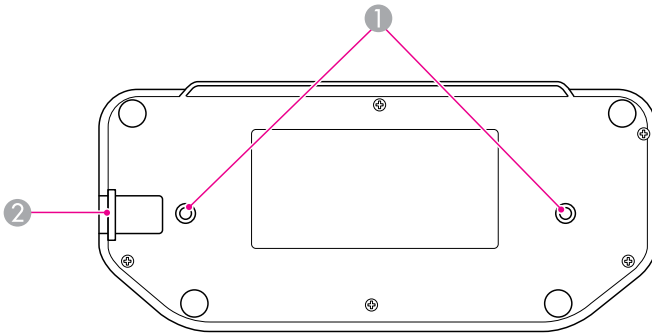
	名称	機能
①	[] ボタン	書画カメラの電源をオン / オフします。
②	[] ボタン [] []	[] 書画カメラの映像を投写します。 [] [] コンピューターの映像を投写します。
③	[メニュー] ボタン	メニューを表示 / 終了します。
④	[] [] [] [] ボタン	メニューを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。電子ズーム実行中に押すと画面をスクロールします。
	[明るさ] ボタン [] []	映像の明るさを調整します。 ズーム実行中は明るさ調整は無効です。
	[決定] ボタン	メニューを表示中に押すと項目を決定します。
⑤	[戻る] ボタン	実行中の機能を終了します。メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。
⑥	[ズーム] ボタン [] []	投写サイズを変えずに映像を拡大 / 縮小します。
⑦	[フォーカス] ボタン	[フォーカス] ボタンを押すと、自動でピントを合わせます。カメラレンズの先端から、約 10cm 以内はピントが合いません。
⑧	[静止 / 撮影] ボタン	短く押すと、映像を静止します。長押しすると、映像を静止画として保存します。([画像を保存する] P.39)
⑨	[録画] ボタン	動画を録画するときはこのボタンを押すと、録画を開始 / 停止します。

# インターフェイス



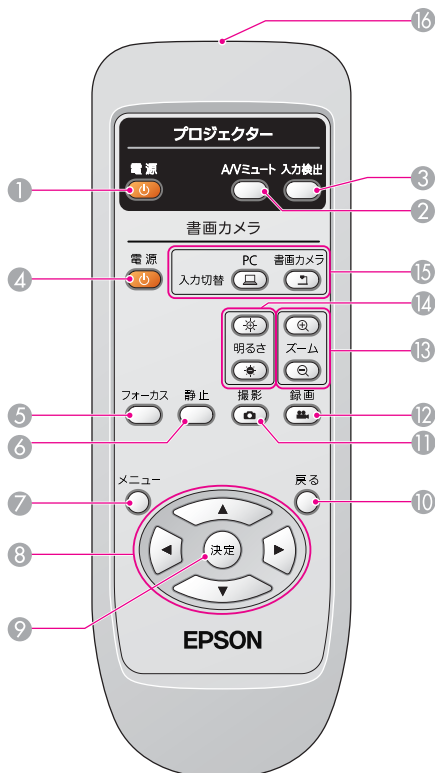
名称	機能
① [コンポジット出力] 端子	コンポジットビデオ信号をプロジェクターまたは外部モニターに出力します。
② [電源] (ACアダプター/DC In) 端子	同梱の AC アダプターを接続します。
③ [PC 入力] 端子	コンピューターの映像信号を入力します。
④ [映像出力] 端子	映像機器に接続して映像信号を出力します。
⑤ [HDMI] 端子	HDMI に対応した映像機器に接続して映像と音声を出力します。
⑥ [USB-A] 端子 (TypeA)	市販の USB マウスを接続して書画カメラの映像に注釈をいれることができます。 (「注釈をいれる」 P.33) また USB メモリーを接続して、映像を保存したり、USB メモリー内の映像を表示します。
⑦ [USB-B] 端子 (TypeB)	同梱のソフトウェアを使用しているときに、同梱の USB ケーブルで書画カメラをコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写します。
⑧ [マイク入力] 端子	市販のマイクを接続して、動画録画時に音声を録音できます。 (「動画を保存する」 P.40)

# 底面



	名称	機能
①	固定部	市販の M4 ネジで机やカートなどに固定できます。
②	セキュリティーケーブル取り付け部	市販のセキュリティーケーブルをこの部分に取り付けて、書画カメラを保護します。(「書画カメラの保護」P.18)

# リモコンボタン











## プロジェクター操作

名称	機能
① [⏻] ボタン	使用している EPSON プロジェクター*の電源をオン / オフします。このボタンで書画カメラを操作することはできません。
② [A/V ミュート] ボタン	EPSON プロジェクター*の映像と音声を一時的に消去 / 解除します。
③ [入力検出] ボタン	EPSON プロジェクター*のソース入力信号を切り替えます。

※ 一部、対応していないプロジェクターがあります。詳しくは、お買い上げの販売店または本書に記載のお問い合わせ先にご確認ください。

## 書画カメラ操作

	名称	機能
④	[  ] ボタン	書画カメラの電源をオン / オフします。このボタンでプロジェクターを操作することはできません。
⑤	[フォーカス] ボタン	[フォーカス] ボタンを押すと、自動でピントを合わせます。カメラレンズの先端から、約 10cm 以内はピントが合いません。
⑥	[静止] ボタン	映像を静止します。再度ボタンを押すとライブ映像の投写を再開します。
⑦	[メニュー] ボタン	メニューを表示 / 終了します。
⑧	[  ] [  ] [  ] [  ] ボタン	メニューを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。電子ズーム実行中に押すと画面をスクロールします。
⑨	[決定] ボタン	メニューを表示中に押すと項目を決定します。
⑩	[戻る] ボタン	実行中の機能を終了します。メニューを表示中に押すと、1 つ上の階層に戻ります。
⑪	[撮影] ボタン [  ]	映像を静止画として保存します。
⑫	[録画] ボタン [  ]	動画を録画するときにこのボタンを押すと、録画を開始 / 停止します。
⑬	[ズーム] ボタン [  ] [  ]	投写サイズを変えずに映像を拡大 / 縮小します。
⑭	[明るさ] ボタン [  ] [  ]	映像の明るさを調整します。
⑮	[入力切替] ボタン [  ] [  ]	[  ] コンピューターの映像を投写します。 [  ] 書画カメラの映像を投写します。
⑯	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

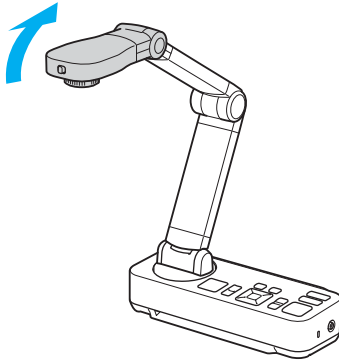


# 書画カメラを保管する

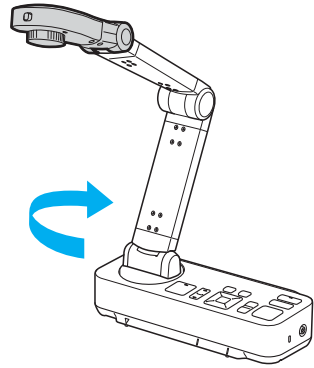
書画カメラを使用しないときは、以下のように支柱を折りたたんでください。

**⚠ 注意**  
支柱を無理に押ししたり、逆方向に曲げないでください。破損の原因になることがあります。

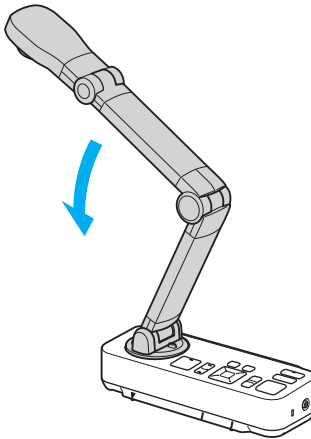
1



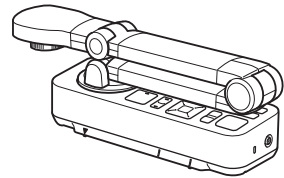
2



3

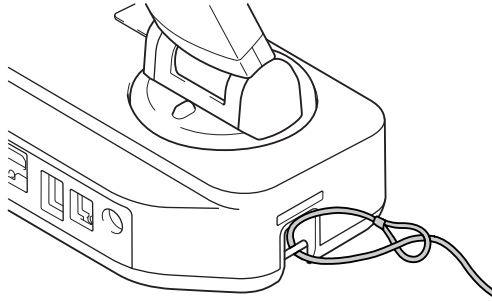


4

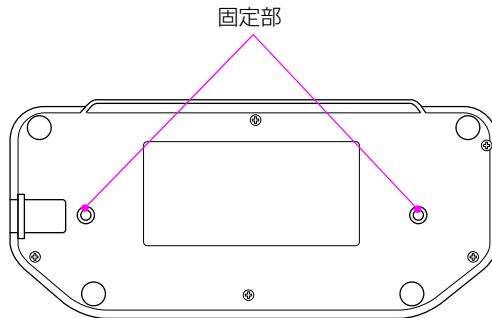


## 書画カメラの保護

ケーブルを以下のようにセキュリティーケーブル取り付け部のバーに結びつけるか、Kensington 盗難防止ケーブルを Kensington セキュリティー slots に挿入することにより書画カメラを保護できます。



また、書画カメラをテーブルやカート、またはスタンドに取り付けることもできます。M4 サイズボルトを使用して、書画カメラの下ケースの中に深さ 9 mm までねじ込むことができます。



### 注意

ボルトをしっかりと固定し、締め付けすぎないようにしてください。また、接着剤は使わないでください。

# 接続する

以下の操作手順に従って書画カメラをセットアップし、プレゼンテーションのための準備を行います。

## プロジェクターに接続する

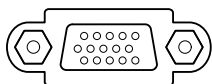
書画カメラは、コンピューターケーブルやコンポジットケーブル、HDMI ケーブルを使用してプロジェクターと接続したり、外部モニターなどの映像機器にも接続できます。

### メモ

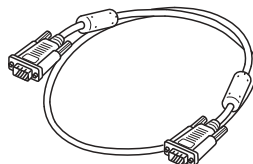
コンピューターと接続したいときは、「コンピューターに接続する」P.21 を参照してください。

- 1 接続したいプロジェクターやビデオ装置の入力端子によって使用するケーブルを選択します。

[映像出力] 端子



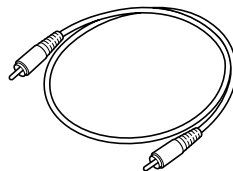
コンピューターケーブル (付属品)



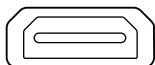
[コンポジット出力] 端子



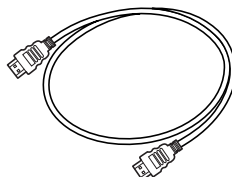
コンポジットビデオケーブル (市販品)



[HDMI] 端子

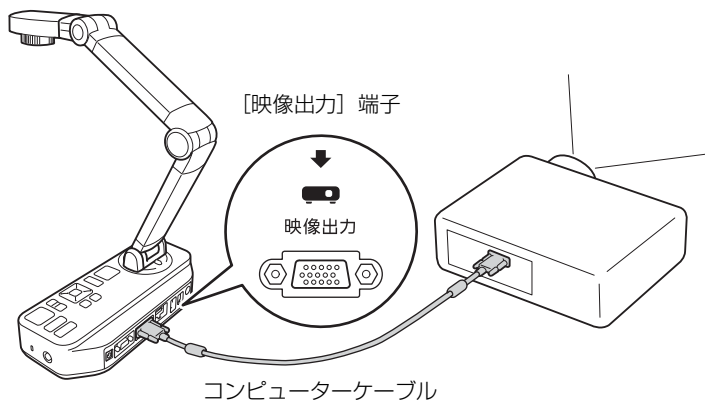


HDMI ケーブル (市販品)

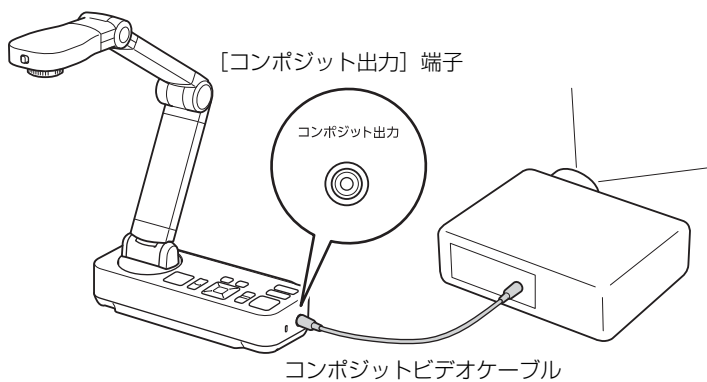


**2** 以下のいずれかの方法で書画カメラを接続します。

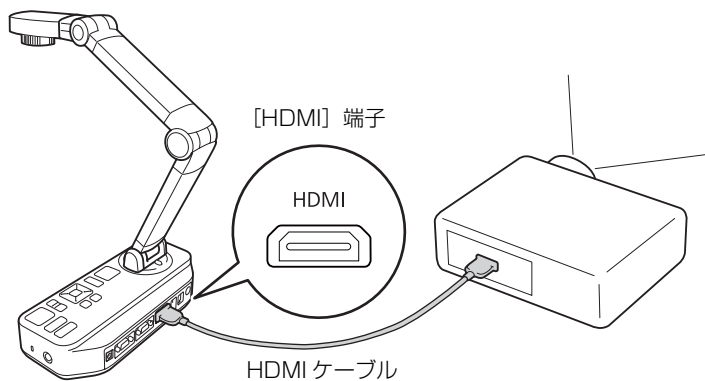
### コンピューターケーブル接続



### コンポジットビデオケーブル接続



### HDMI ケーブル接続



## メモ

- USB ケーブルで接続中は、他の出力端子からの映像が表示されません。
- 複数のケーブルを同時に接続しているときは、HDMI >映像出力>コンポジット出力の優先順位で映像信号が出力されます。

---

## コンピューターに接続する

書画カメラをコンピューターと接続すると、同梱のソフトウェアを使用して静止画像や動画のキャプチャー、編集、再生を行うことができます（「同梱ソフトウェアを使用する」P.56 参照）。

また、PowerPoint のスライドやその他アプリケーションのドキュメントを投写することもできます。

これらの映像を投写中も、書画カメラのライブ映像に簡単に切り替えることができます。

コンピューターの接続方法は、お使いになるソフトウェアによって異なります。

- 同梱のソフトウェアを使用する場合は、以下の「書画カメラソフトウェアを使用して接続する」P.21 を参照してください。
- 同梱のソフトウェアを使用しない場合やソフトウェアがインストールされていない場合は、「書画カメラソフトウェアを使用しないで接続する」P.23 を参照してください。

## 書画カメラソフトウェアを使用して接続する

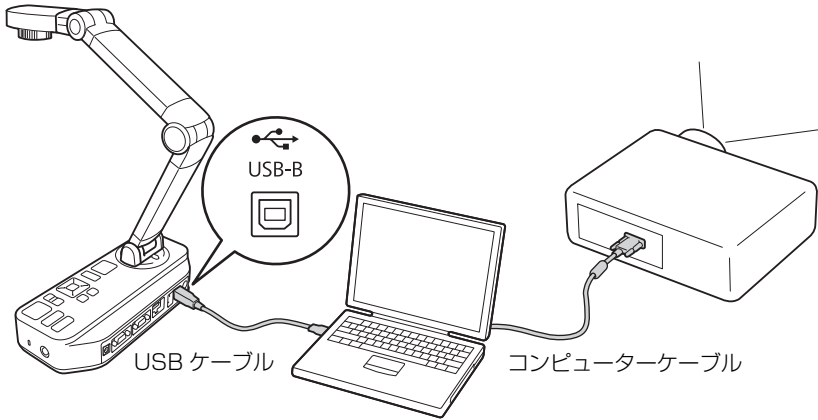
同梱のソフトウェアを使用する場合の接続方法です。

コンピューターの映像を表示するだけでなく、以下のような機能が同梱のソフトウェアからの操作で実行できます。

- ・ライブ映像（書画カメラで写している映像）への切り替え
- ・スライドの実行
- ・書画カメラ内蔵メモリーの画像を投写
- ・画面や動画のキャプチャー
- ・ファイルの管理、編集

同梱のソフトウェアがお使いのコンピューターにインストールされていることを確認してください（「ソフトウェアをインストールする」P.56 参照）。

- 1** USB ケーブルを使用して、書画カメラとコンピューターを以下のように接続します。



**メモ**

- USB ケーブルで接続中は、他の出力端子からの映像が表示されません。
- 本機とプロジェクターをUSBケーブルで直接接続して映像を表示することはできません。
- USB3.0ポートに接続すると、正常に動作しないことがあります。USB2.0ポートを使用して接続してください。

- 2** コンピューターケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

- 3** 書画カメラソフトウェアについては、「同梱ソフトウェアを使用する」P.56を参照してください。

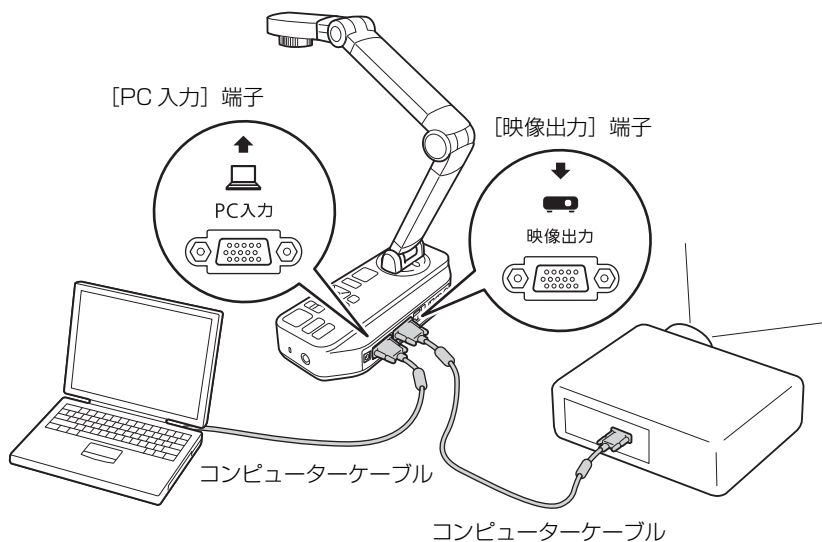
**メモ**

映像が投写されない場合は、書画カメラの [USB モード] が [マストレージ] に設定されている場合があります。設定の変更方法については、「コンピューターで書画カメラのライブ映像が見えない」P.69を参照してください。ノートパソコンを接続している場合は、「ノートパソコン接続時のトラブル」P.69のノートパソコン設定を確認してください。

## 書画カメラソフトウェアを使用しないで接続する

この接続方法では、PowerPoint のスライドやその他アプリケーションの映像を同梱のソフトウェアを使用せずに投写します。

- 1** デスクトップコンピューターを使用している場合は、モニターをコンピューターから取り外します。
- 2** コンピューターケーブルをコンピューターのモニター出力端子と書画カメラの【PC 入力】端子に接続します。



- 3** 2本目のコンピュータケーブルを書画カメラの【映像出力】端子とプロジェクターに接続します。

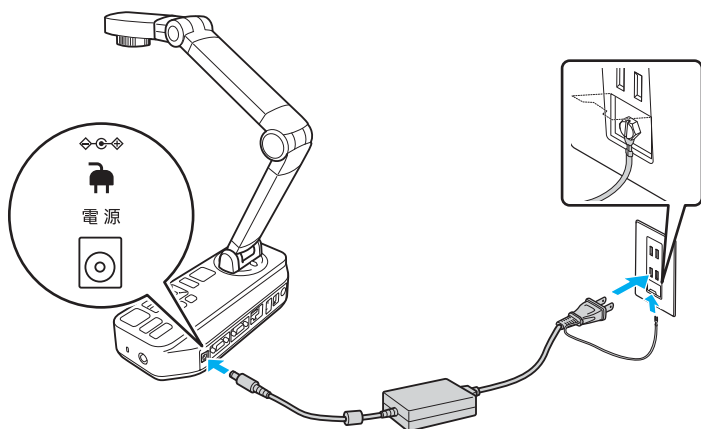
### メモ

- ノートパソコンを接続時に映像が表示されない場合は、「ノートパソコン接続時のトラブル」P.69 を参照してノートパソコンの設定を確認してください。
- 【PC 入力】端子からの映像信号は、【映像出力】端子からのみ出力できます。

# 投写する

## 電源を入れる

- 1 電源コードを以下のように接続します。電源プラグをコンセントに差し込みます。



### ⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

- 2 書画カメラの電源ボタン [⏻] を押します。書画カメラの映像が投写されるまで約 20 秒かかります。
- 3 プロジェクターの電源を入れます。
- 4 プロジェクターの [入力ソース] を本機を接続している端子に切り替えます。

### 📄 メモ

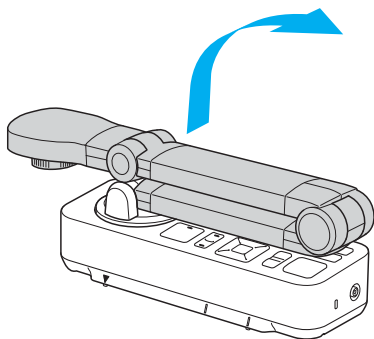
書画カメラをご使用にならないときは、電源ボタン [⏻] を 2 回押して電源を切り、「書画カメラを保管する」P.17 を参照して書画カメラの支柱を折りたたんでください。



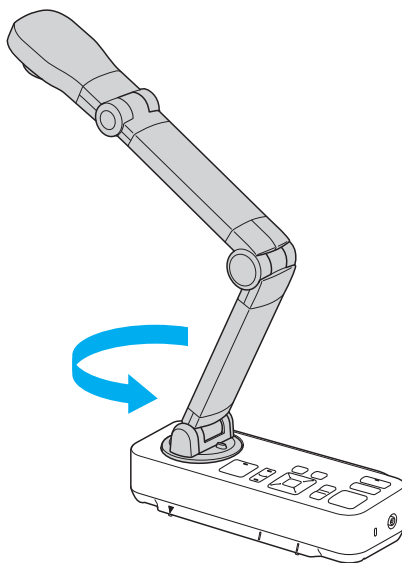
# 印刷物などの資料を投写する

## 設置する

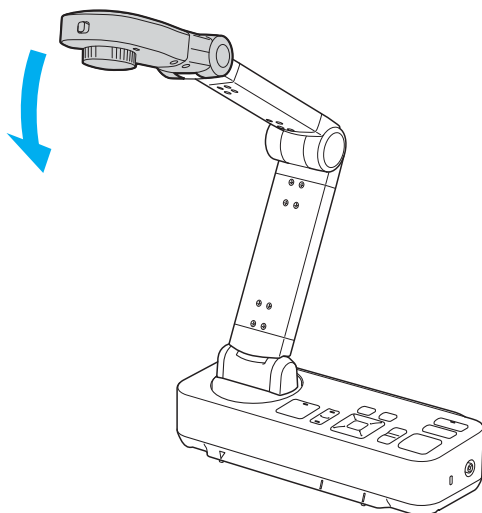
- 1 片手で本体を押さえながらカメラの支柱を伸ばします。



- 2 支柱を以下のように回転させます。



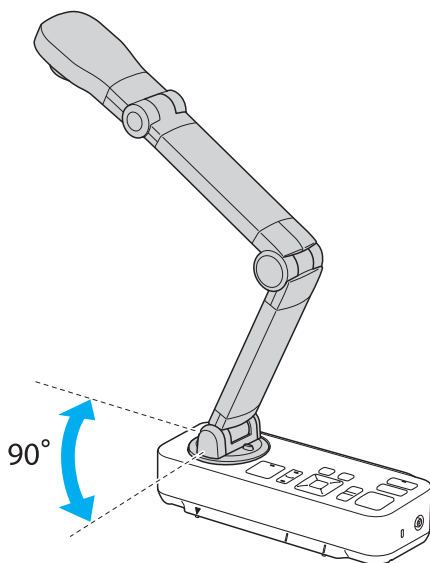
**3** カメラヘッドを投写領域の上にセットします。



**⚠ 注意**

支柱を無理に押したり、逆方向に曲げないでください。破損の原因になることがあります。

支柱は以下の範囲でしか回転しません。

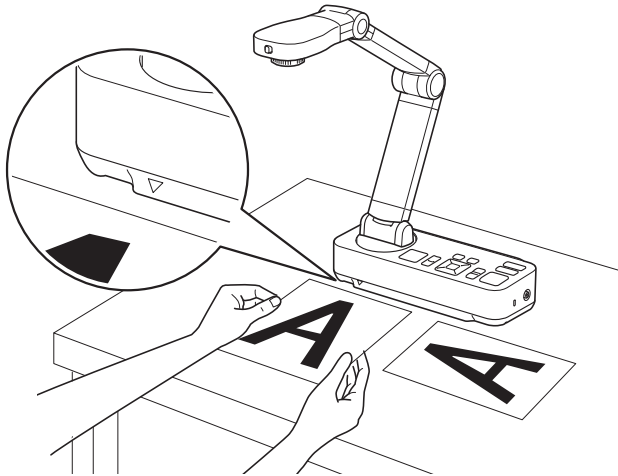


## 投写する

**1** 投写したい資料をカメラレンズの真下に置きます。資料の中心と書画カメラの▽を合わせます。

### メモ

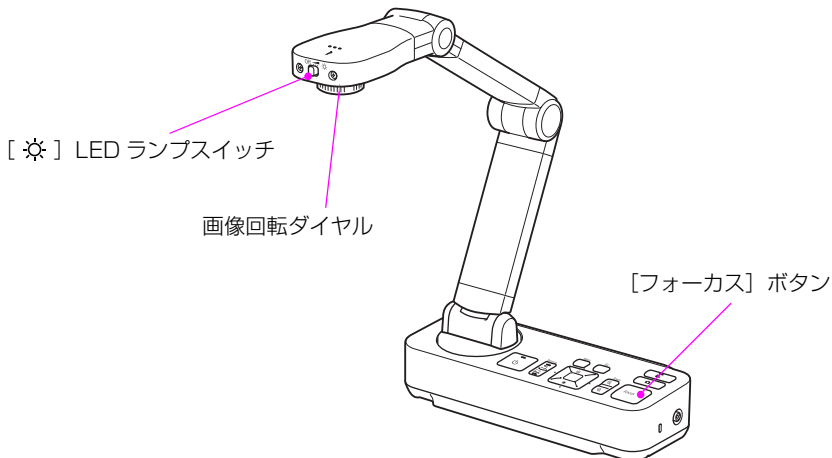
- 書画カメラ側面にあるガイドにレターサイズまたは A4 サイズの用紙を合わせます。
- 投写できる最大用紙サイズは A3 横です。



**2** [☀] LED ランプスイッチをスライドして資料を照らします。

 **メモ**

書画カメラまたはリモコンの [☀] / [☀] ボタンで映像の明るさを調整できます。



**3** 映像を回転させたい場合は、画像回転ダイヤルを操作します。

 **メモ**

映像を 180° 回転させたい場合は、[メニュー] ボタンを押して [映像設定] > [画像回転] > [180°] を選択します。

**4** 書画カメラまたはリモコンの [フォーカス] ボタンを押します。自動的にピントが合います。

 **メモ**

ピントを微調整するときは、[メニュー] ボタンを押して [映像設定] > [フォーカス] を選択します。[◀] / [▶] ボタンでフォーカス調整を行います。

**5** 映像を拡大するには、書画カメラまたはリモコンの [ズーム] - [⊕] ボタンを押します。縮小するには、[ズーム] - [⊖] ボタンを押します。

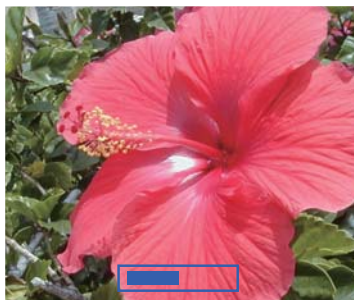
## 📄 メモ

- ズームは 16 倍まで拡大できます。ズーム実行中に [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンを押すと、映像をスクロールできます。
- ズームエリアウィンドウ機能がオンの場合、しばらくズームすると全体映像内のズーム位置を示す枠を画面右下に表示します。オフの場合はズームの拡大率を示す枠を表示します。ズームエリアウィンドウ機能は [メニュー] ボタンを押して [映像設定] > [ズームエリアウィンドウ] で設定します。

### ズームエリアウィンドウがオンの場合



### ズームエリアウィンドウがオフの場合



- プロジェクターや外部モニターの出力解像度によって、右下の枠内に表示されるエリアの一部が拡大表示されないことがあります。
- ズーム使用時は画質が劣化する場合があります。

## 映像を静止する

映像を静止するには、書画カメラの〔静止 / 撮影〕ボタンまたはリモコンの〔静止〕ボタンを押します。(書画カメラの〔静止 / 撮影〕ボタンを長押しすると、静止画像が保存されます(「画像を保存する」P.39 参照)。

映像を静止後は、資料を取り除いても静止画像はスクリーンに投写されます。カメラレンズの下に次の資料を置いて再度ボタンを押せば、連続して資料を投写できます。

### メモ

映像を静止している間は映像を拡大することはできません。

## 小さい被写体を投写する

小さい被写体を投写するには、書画カメラの支柱を縮めます。被写体から約 10 cm までカメラレンズの位置を調整できます。

さらに被写体を拡大するには、書画カメラまたはリモコンの〔ズーム〕 - 〔Q〕ボタンを押します。縮小するには、〔ズーム〕 - 〔Q〕ボタンを押します。

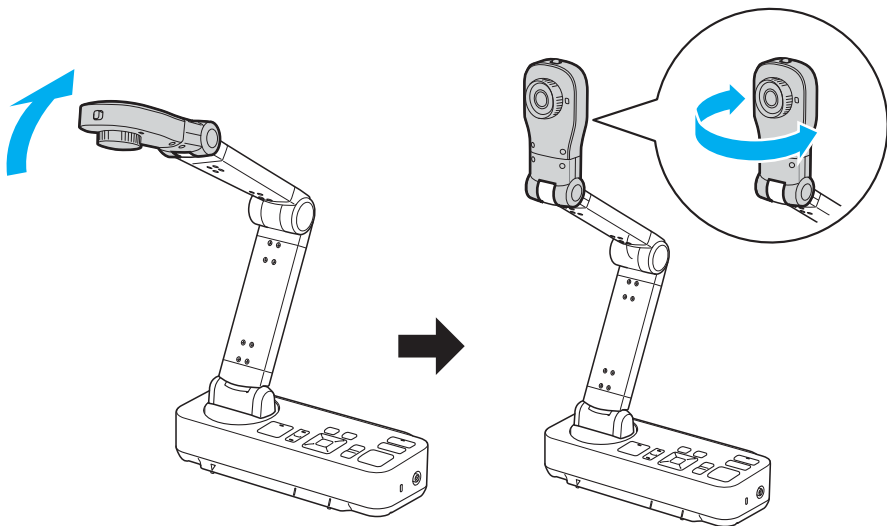
# ホワイトボードなどを投写する

書画カメラを使用して講義やプレゼンテーションを投写したり、ホワイトボードや黒板の映像を投写できます。

## メモ

映像の上下を反転するには、[メニュー] ボタンを押して [映像設定] > [画像回転] > [180°] を選択します。

**1** カメラヘッドを回転してホワイトボードや投写したい方向にセットします。



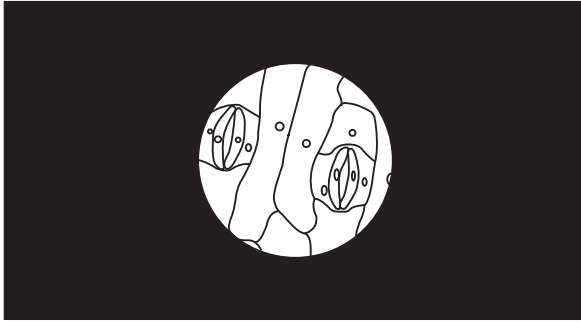
**2** [フォーカス] ボタンを押します。自動的にピントが合います。

## メモ

書画カメラの内蔵メモリーやSDカード、USBメモリー、コンピューターにプレゼンテーションの音声 / 映像のライブ録画が可能です。

書画カメラの内蔵メモリーやSDカード、USBメモリーに保存するときは「動画を保存する」P.40、コンピューターに保存するときは「動画を録画する」P.62を参照してください。

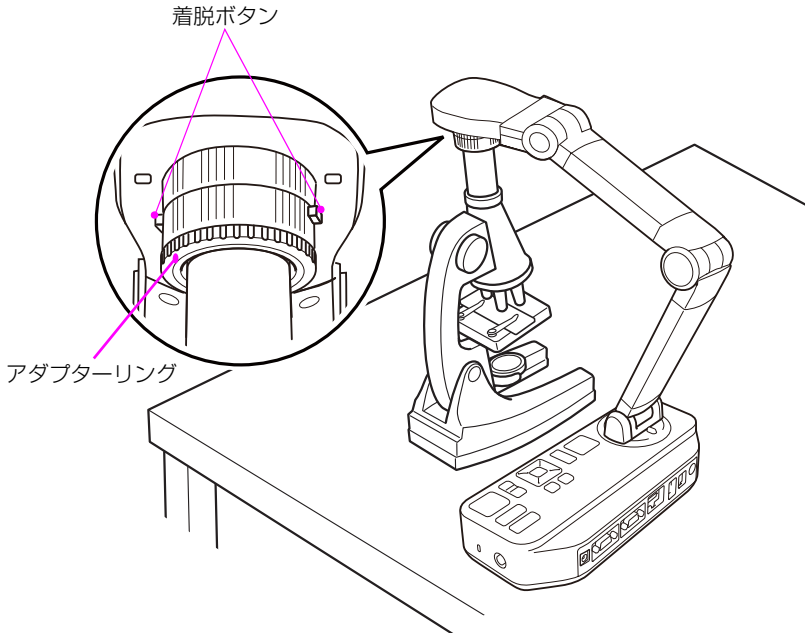
# 顕微鏡を通して投写する



顕微鏡を通して被写体を投写するには、以下のように同梱の顕微鏡アダプターを使用し、顕微鏡レンズの上にカメラヘッドを配置してください。

## メモ

- 書画カメラに装着する前に、顕微鏡のピント、ズームを調整しておいてください。
- お使いの顕微鏡の光学特性により、映像が正しく表示されない場合があります。





- 1** 顕微鏡アダプターを画像回転ダイヤルに取り付けます。顕微鏡アダプターの着脱ボタンを押しながらアダプターを押し込みます。
- 2** 顕微鏡のレンズの上に、カメラヘッドを置きます。アダプターリングを引き出して、顕微鏡の接眼レンズに装着します。アダプターリングは 5mm まで引き出せます。
- 3** [メニュー] ボタンを押して、[映像設定] > [顕微鏡] > [オン] を選択します。顕微鏡使用時の映像設定が最適化されます。

 **メモ**

手順 **3** の操作で [顕微鏡] を [オン] にしたあとに明るさやズームを手動で調整すると、[顕微鏡] が [オフ] に変更されます。

---

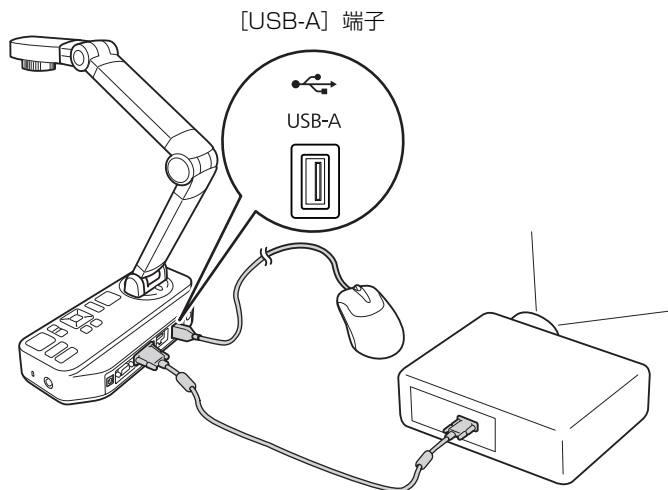
## 注釈をいれる

書画カメラに USB マウスを接続すると、書画カメラの映像に注釈ツールが表示され、コンピューターを使用しなくても手書きやグラフィックの注釈を付けることができます。

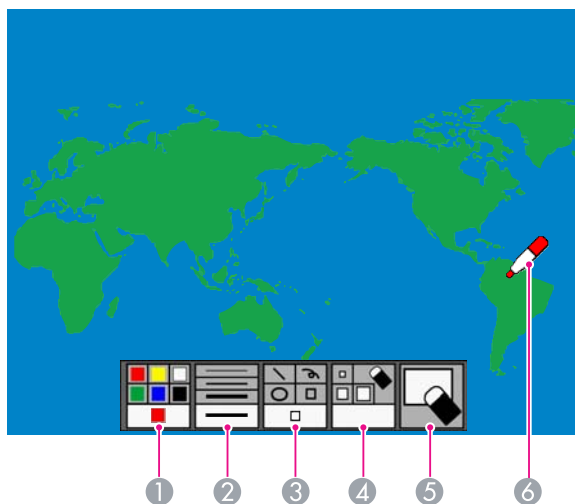
 **メモ**

- 注釈機能はカメラ映像が表示されているときのみ使用できます。
- ドライバーのインストールが必要な USB マウスは使用できません。その他、お使いの USB マウスによっては使用できない場合があります。

- 1** 書画カメラに USB マウスを接続します。



- 2** 注釈ツールバーが画面下に表示されます。



	ツール	機能
<b>1</b>	色	注釈の色を選択します。
<b>2</b>	線の太さ	注釈の線の太さを選択します。

	ツール	機能
③	図形	図形（直線 / フリーハンド / 円 / 四角）を変更します。
④	消しゴム	選択した消しゴムの大きさを注釈を消去します。
⑤	すべてクリア	現在の注釈をすべて消去します。
⑥	ポインター	ツールを選択し、注釈を入れます。選択しているボタンやツールにより形状は変わります。

### ③ ツールを選択します。ツールボタン上でアイコンを左クリックします。

例 四角を描きたいとき



#### メモ

線や図形を描いたり消しゴムで消したりするには、マウスの左ボタンで操作します。

### ④ 注釈を終了するには USB マウスを抜いてください。

#### メモ

- 注釈中はオンスクリーンメニューを使用できません。
- 注釈の入った画像は保存できません。

# 表示する映像を切り替える

コンピューターに接続している場合（「コンピューターに接続する」P.21 参照）、PowerPoint のスライドやコンピューター上のアプリケーションの映像をプロジェクターで投写できます。コンピューター上のアプリケーション映像と書画カメラのライブ映像は簡単に切り替えることができます。

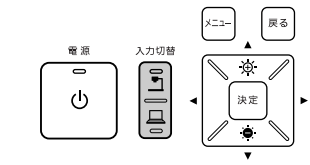
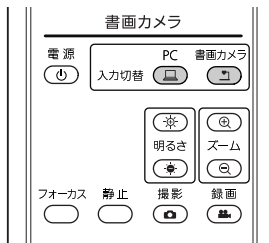
- 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続している場合（「書画カメラソフトウェアを使用して接続する」P.21 参照）、映像の切り替えは同梱の書画カメラソフトウェアで操作できます。

書画カメラのライブ映像に切り替える場合は、書画カメラソフトウェアで [キャプチャ] モードを選択してください。

- コンピューターケーブルでコンピューターに接続しているときに（「書画カメラソフトウェアを使用しないで接続する」P.23 参照）、映像を切り替える場合は、書画カメラの [入力切替] ボタンを押してください。

PowerPoint スライドなどのコンピューター上の映像を投写するには、書画カメラまたはリモコンの [入力切替] - [ ] ボタンを押します。

書画カメラのライブ映像に切り替えるには、[入力切替] - [ ] ボタンを押します。



# スクリーンを分割する

書画カメラの内蔵メモリーや SD カード、USB メモリーに映像を保存している場合（「映像の保存・スライドショーの表示」P.39 参照）など、書画カメラのライブ映像を含め、投写できる映像が複数あるときは、同時に 2 つの映像を投写できます。

## メモ

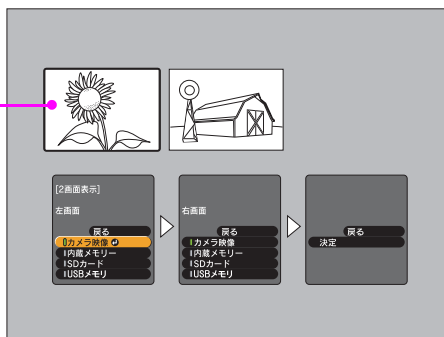
USB ケーブルでコンピューターと接続しているときは、この機能を使用できません。

**1** [メニュー] ボタンを押して、[メモリー] > [2画面表示] を選択します。



セットアップ画面の左側がハイライトされます。

ハイライト  
された画面



**2** [▲] / [▼] ボタンでハイライトされた画面に表示するソースを選択します。  
以下のソースから選択します。

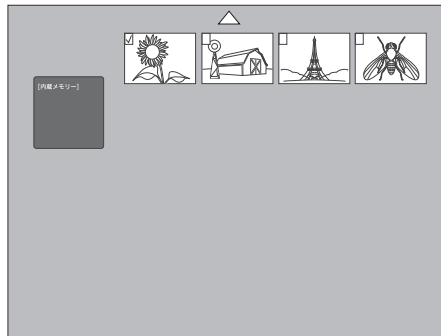
- 書画カメラのライブ映像を投写するには、[カメラ映像] を選択します。
- 内蔵メモリーに保存している映像を投写するには、[内蔵メモリー] を選択します。
- SD カードに保存している映像を投写するには、[SD カード] を選択します。
- USB メモリーに保存している映像を投写するには、[USB メモリー] を選択します。

## 📄 メモ

- SDカードやUSBメモリー内の映像を投写する場合、読み取り可能なフォーマットで保存されている必要があります。「SD カード、USB メモリー使用に関するトラブル」P.68 を参照してください。
- USB メモリーを接続していても [USB メモリ] が表示されないときは、[USB モード] を [アプリケーション] に設定してください。

**3** [決定] ボタンを押して、内容を確定します。

**4** [内蔵メモリー]、[SD カード]、または [USB メモリ] をソースとして選択した場合、映像の選択画面が表示されます。



[▲] [▼] [◀] [▶] を使用して投写したい映像をハイライトし、[決定] ボタンを押します。

設定が完了したら、[戻る] を選択します。

**5** 手順 2 から手順 4 を繰り返して右側に投写するソースを選択します。

## 📄 メモ

左右画面の両方に書画カメラのライブ映像または動画を投写することはできません。

**6** 左右スクリーンの設定が終わったら、[▶] を押してから [決定] ボタンを押します。選択した映像が分割したスクリーンにそれぞれ投写されます。

## 📄 メモ

HDMI 接続で出力している場合は動画の音声も再生されます。

**7** 分割スクリーンモードを解除するには、[メニュー] または [戻る] ボタンを押します。

# 映像の保存・スライドショーの表示

書画カメラの映像は、内蔵メモリーだけでなく、USBメモリーやSDカードにも保存できます。

また、保存した映像は本体とSDカードまたはUSBメモリー間でインポート・エクスポートすることができます。

保存した画像や動画はスライドショーで表示したり、コンピューターで見ることもできます。

## メモ

- SD/SDHCカードに対応しています。
- SDカードに保存するときは、SDカードがLOCK(書き込み禁止)に設定されていないことを確認してください。
- セキュリティー機能が付いているSDカードやUSBメモリーは、使用できないことがあります。
- USBケーブルでコンピューターと接続しているときは、この章で説明している機能を使用できません(コンピューターから書画カメラに直接アクセスする場合を除く「コンピューターでファイルの閲覧・管理を行う」P.45)。

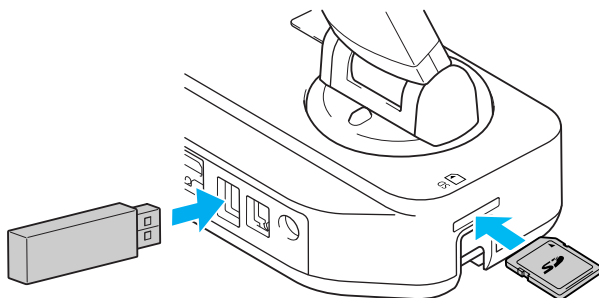
## 画像を保存する

書画カメラの映像表示を静止画として書画カメラの内蔵メモリー、SDカード、またはUSBメモリーのいずれかに保存します。保存先が複数ある場合、USBメモリー>SDカード>内蔵メモリーの優先順位で保存先が決まります。保存先のメモリー残容量が少ないときは、次に優先される保存先に保存されます。

## メモ

画像はJPEG形式(1920×1080)で保存されます。

- 1 SDカードまたはUSBメモリーに保存する場合は、本機に接続されていることを確認します。SDカードは上向きに挿入します。

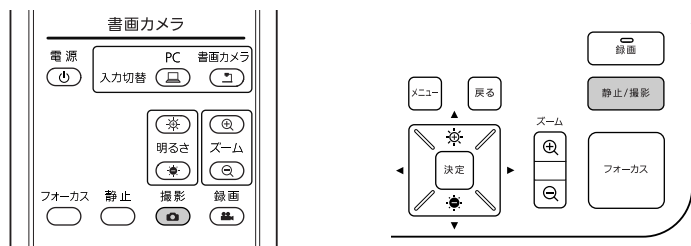


## メモ

USB メモリーに保存する場合は、[機能設定] - [USB モード] が [アプリケーション] に設定されていることを確認してください。

**2** 保存したい映像を投写します。必要な設定を行います。

**3** [📷] ボタンまたは [静止 / 撮影] ボタンを押して、映像をキャプチャーします。リモコンの [📷] ボタンの場合は短く、書画カメラの [静止 / 撮影] ボタンの場合は長押しします。



画面右上に 📷 が表示されます。キャプチャーした画像が保存されます。

## メモ

書画カメラのボタンの場合は、[静止 / 撮影] ボタンを短く押すと、映像は保存されず、映像が静止して表示されます。

**4** 手順 **2** と **3** を繰り返して別の映像を保存します。

## メモ

●保存先のメモリー残容量が少ないときは、「メモリーがいっぱいです」というメッセージが表示され、画像は保存されません。

●データの転送中に電源ケーブルを本体から抜いたり、SD カード・USB メモリーを本体から抜かないでください。正しく保存されない可能性があります。

## 動画を保存する

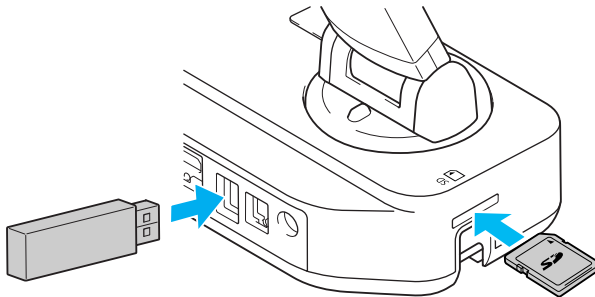
書画カメラの映像表示を動画として、内蔵メモリー、SD カード、または USB メモリーのいずれかに保存します。保存先が複数ある場合、USB メモリー > SD カード > 内蔵メモリーの優先順位で保存先が決まります。保存先のメモリー残容量が少ないときは、次に優先される保存先に保存されます。



## メモ

- 動画は AVI 形式で保存されます。(Motion JPEG+PCM)
- 1 ファイル最大 2GB までの録画ができます。

**1** SDカードまたはUSBメモリーに保存する場合は、本機に接続されていることを確認します。SDカードは上向きに挿入します。



## メモ

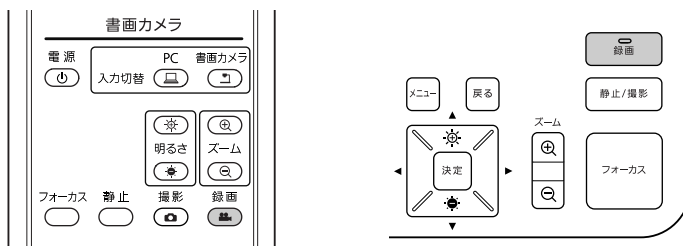
USBメモリーに保存する場合は、[機能設定] - [USBモード] が [アプリケーション] に設定されていることを確認してください。

**2** 保存したい映像を投写します。必要な設定を行います。

## メモ

本機のマイクを使って録音する場合、ズームやフォーカス調整の操作音も録音されてしまいます。録画を開始する前にズームやフォーカスを調整するか、外部マイクを使用してください。

**3** [人] ボタンまたは [録画] ボタンを押して録画を開始します。



## メモ

録画中に表示される経過時間は、保存された動画には表示されません。

**4** 録画を終了するには、**[ 停止 ]** ボタンまたは**[ 録画 ]** ボタンをもう一度押します。

#### メモ

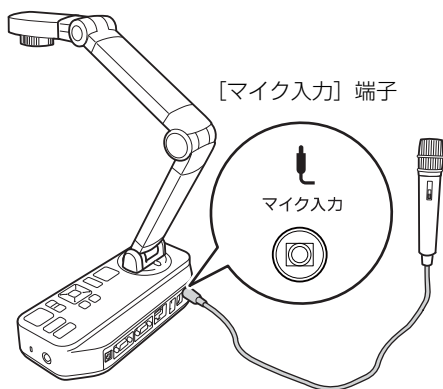
- 保存先のメモリー残容量が少ないときは、「メモリがいっぱいです」というメッセージが表示され、動画は保存されません。
- 録画中にメモリーがいっぱいになると、そこまでの映像を保存して録画を終了します。
- 録画中やデータの転送中に電源ケーブルを本体から抜いたり、SDカード・USBメモリーを本体から抜かないでください。正しく保存されない可能性があります。

## 外部マイクを接続する

市販のコンデンサーマイクを書画カメラに接続すると、映像と一緒に外部マイクからの音声も保存することができます。

#### メモ

- マイクの録音音量は、**[メニュー]** ボタンを押して**[機能設定]** > **[外部マイク音量]** で調整できます。
- 外部マイクを接続中は、本機のマイクが無効になります。
- プラグインパワー方式には対応していません。
- 録音中の音声は出力できません。

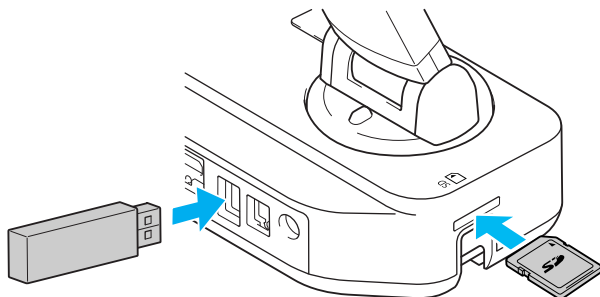


# 保存したデータを転送する

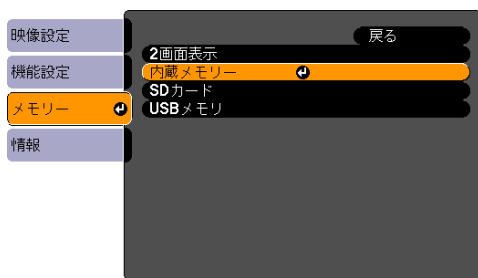
内蔵メモリーに保存した映像を SD カードや USB メモリーに転送することができます。また反対に、SD カードや USB メモリーに保存した映像を内蔵メモリーに取り込むこともできます（インポート）。

以下は内蔵メモリーの映像を転送する操作を例に説明します。

- 1 SD カードまたは USB メモリーが本機に接続されていることを確認します。SD カードは上向きに挿入します。



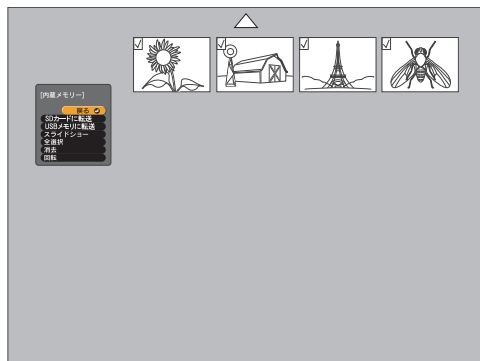
- 2 [メニュー] ボタンを押して、[メモリー] > [内蔵メモリー] を選択します。



## メモ

SDカードやUSBメモリーに保存した映像を内蔵メモリーに取り込むときは、[SDカード] または [USBメモリー] のいずれかを選択します。

書画カメラの内蔵メモリーに保存されている映像が以下のように表示されます。



- 3** SDカードまたはUSBメモリーに保存(転送)したい映像を[▲][▼][◀][▶]ボタンでハイライトし、[決定] ボタンを押して選択します。(選択解除するには、再度 [決定] ボタンを押します。) 選択した映像にはチェックマークが付きます。

 **メモ**

すべての映像にチェックマークを付けるには、[全選択] を選択します。チェックマークをすべて外すには、再度 [全選択] を選択します。

- 4** [SDカードに転送] または [USBメモリーに転送] を選択して、[決定] ボタンを押します。

 **メモ**

SDカードやUSBメモリーに保存した映像を内蔵メモリーに取り込むときは、[インポート] を選択します。

- 5** 以下のいずれかの操作を行って画面を閉じます。

- SDカードまたはUSBメモリーを抜きます。
- 書画カメラにSDカードまたはUSBメモリーを接続した状態で画面を閉じるには、[メニュー] ボタンまたは [戻る] ボタンを押します。

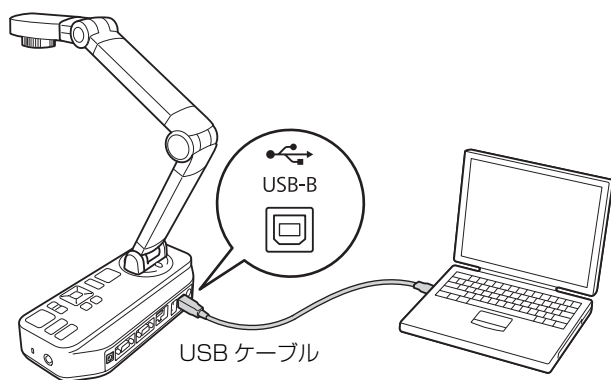
 **メモ**

- SDカードを取り外すには、SDカードをいったん押し込みます。SDカードが少し手前に出たことを確認し、スロットからまっすぐに取り出します。このとき、[SDカード] 画面が開いている場合は、自動的に閉じます。
- USBメモリーを接続していても[USBメモリー]が表示されないときは、[USBモード] を [アプリケーション] に設定してください。

# コンピューターでファイルの閲覧・管理を行う

コンピューターを USB ケーブルで接続することで、書画カメラの内蔵メモリーに保存したファイルにアクセスできます。コンピューターから書画カメラを操作する前に、USB ポートの機能を以下のように変更してください。

- 1** コンピューターケーブルやコンジットビデオケーブル、HDMI ケーブルで書画カメラとプロジェクターを接続します（「プロジェクターに接続する」P.19 参照）。
- 2** 書画カメラとプロジェクターの電源を入れます。
- 3** [メニュー] ボタンを押して、[機能設定] > [USB モード] を選択します。[マスタストレージ] に設定を変更します。
- 4** 書画カメラからプロジェクターを取り外します。
- 5** USB ケーブルで書画カメラとコンピューターを接続します。



書画カメラの内蔵メモリーがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

## メモ

- 書画カメラは内蔵時計を搭載していません。そのため、コンピューターからファイルを表示した場合、そのファイルが保存された日時を表示できません。
- USB3.0 ポートに接続すると、正常に動作しないことがあります。USB2.0 ポートを使用して接続してください。

- 6** コンピューターからファイルの表示、コピー、移動、削除の操作を行います。

## メモ

コンピューターから書画カメラへ画像をコピーする場合、書画カメラで読み取り可能なフォーマットである必要があります（「SD カード、USB メモリー使用に関するトラブル」P.68 参照）。

**7** 操作が完了したら、コンピューターを取り外します。

**⚠ 注意**

USB ケーブルを取り外す前に、コピーが完了していることを確認してください。メモリーの故障やデータ破損の原因になる場合があります。

**8** プロジェクターを接続します。

**9** [メニュー] ボタンを押して、[機能設定] > [USB モード] を選択します。[アプリケーション] に設定を戻します。

**📖 メモ**

[アプリケーション] に設定を戻さないと、書画カメラソフトウェアを使って書画カメラのライブ映像を投写できません。ただし、書画カメラソフトウェアを使わない場合は、設定を戻す必要はありません。

---

## スライドショーを表示する

書画カメラの内蔵メモリーや SD カード、USB メモリーに保存した映像は、スライドショーで表示することができます。

**⚠ 注意**

画像を回転表示する際は、書画カメラの内蔵メモリーや USB メモリー、SD カード内のデータは必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。

**📖 メモ**

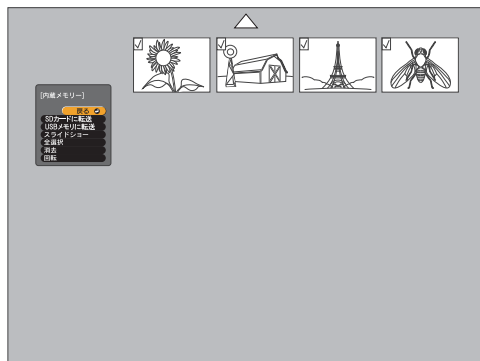
書画カメラでキャプチャーした映像のほかに、SD カードや USB メモリーに保存している画像もスライドショーで表示できます。書画カメラで読み取り可能なフォーマット（「SD カード、USB メモリー使用に関するトラブル」P.68 参照）であれば、コンピューターから書画カメラにコピーした画像も表示することができます（「コンピューターでファイルの閲覧・管理を行う」P.45 参照）。

書画カメラはファイル名の下 4 桁の数字でファイルを区別します。ファイル名の下 4 桁の数字が同じファイルがある場合は、そのうちの 1 枚しか表示することができません。すべてのファイルを表示したい場合は、ファイル名の下 4 桁が異なる数字になるよう、ファイル名を変更してください。

**1** [メニュー] ボタンを押して、[メモリー] を選択します。

- 2** [内蔵メモリー] (内蔵メモリー内の画像を表示する場合)、[SD カード] (SD カード内の画像を表示する場合)、または [USB メモリー] (USB メモリー内の画像を表示する場合) を選択します。

以下の画面が表示されます。



- 3** 映像を回転するには、回転したい映像を [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンでハイライトし、[決定] ボタンを押して選択します。(選択解除するには、再度 [決定] ボタンを押します。) 選択した映像にはチェックマークが付きます。複数の映像を選択する場合は、同様の操作を繰り返して回転したい映像すべてにチェックマークをつけた状態で [回転] を選択します。

選択した映像が時計回りに 90° 回転します。

### ⚠ 注意

書画カメラの内蔵メモリーや USB メモリー、SD カードに保存された画像を本機で回転表示する際に、元の画像を変更して保存・表示する場合があります。なお、一度に回転できる画像は 12 枚までです。

### 📄 メモ

映像を回転すると、画質が低下することがあります。また、タイムスタンプのある写真の場合、日付が本機の設定値 (実際の日付と異なります。) に変更されます。

- 4** スライドショーで表示したい映像を [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンでハイライトし、[決定] ボタンを押して選択します。(選択解除するには、再度 [決定] ボタンを押します。) 選択した映像にはチェックマークが付きます。

### 📄 メモ

すべての映像にチェックマークを付けるには、[全選択] を選択します。チェックマークをすべて外すには、再度 [全選択] を選択します。

- 5** [再生 / スライドショー] を選択すると、映像が表示されます。

動画が表示されたときは、[決定] ボタンを押して再生 / 停止します。(早送り / 巻戻しなどの機能はありません。)

### 📄 メモ

HDMI 接続で出力している場合は動画の音声も再生されます。

- 6** 次の映像を表示するには、[▶] を押します。  
前の映像を表示するには、[◀] を押します。
- 7** スライドショーを終了するには、最後の映像で [▶] を押します。スライドショーの途中で終了するには、[メニュー] ボタンまたは [戻る] ボタンを押します。

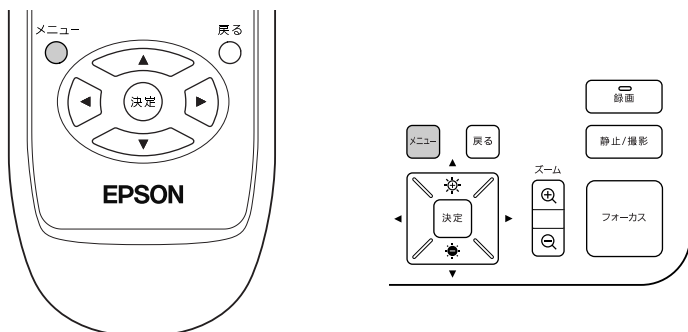


# 映像の調整と効果

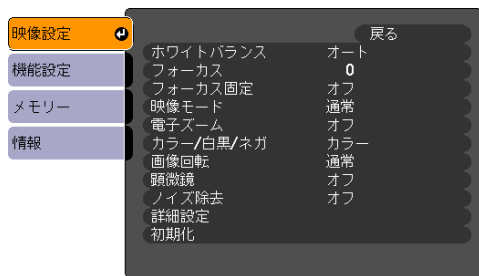
書画カメラでは、映像の静止、白黒表示、色を反転して表示する機能など、あらゆる種類の映像の調整と効果が可能です。

## オンスクリーンメニューを使用する

書画カメラまたはリモコンの [メニュー] ボタンを押すと、オンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューの各項目の詳細については「オンスクリーンメニュー一覧」P.50 を参照してください。



以下のメニューが表示されます。



[▲] [▼] [◀] [▶] ボタンでメニューを操作し、各設定の調整を行います。各設定を選択するには [決定] ボタンを押します。[メニュー] ボタンまたは [戻る] ボタンを押すと、設定内容を保存してメニューを閉じます。

# オンスクリーンメニュー一覧

## 映像設定メニュー

フォーカス、ズーム、明るさ調整などの基本的な映像調整については、「印刷物などの資料を投写する」P.25 で説明します。その他にも [映像設定] メニューで次のような映像調整を行えます。

### メモ

カメラのライブ映像を投写しているときに [映像設定] メニューを調整できます。

太字はお買い上げ時の設定です。

※は電源を切るとお買い上げ時の設定に戻る項目です。

設定項目	選択項目	説明
ホワイトバランス	<b>オート</b>	書画カメラを使用する場所の明るさによって映像の色を調整します。
	曇天	曇天下での使用に適しています。
	晴天	晴天下での使用に適しています。
	蛍光灯	蛍光灯を使用している部屋での使用に適しています。
	白熱灯	白熱灯を使用している部屋での使用に適しています。
	フォーカス※	
映像モード	近距離	フォーカスを近距離方向に移動します。
	遠距離	フォーカスを遠距離方向に移動します。
	<b>通常</b>	静止物や動きのある被写体を投写するのに適しています。
	テキスト	白黒のテキストを投写するのに適しています。
	ディスプレイ	タブレット PC などの画面を直接投写するのに適しています。

設定項目	選択項目	説明
カラー / 白黒 / ネガ		映像をカラーまたは白黒で表示します。
	<b>カラー</b>	映像をカラーで表示します。
	白黒	映像を白黒で表示します。
	ネガ	映像をネガで表示します。
画像回転		映像を回転します。
	<b>通常</b>	実際に投写されている映像をそのまま表示します。
	180°	映像を上下回転させて表示します。
ズームエリアウィンドウ		ズーム実行中に画面右下に全体映像を表示し、全体映像内にズーム位置を示す枠を表示します。
	<b>オン</b>	ズームエリアウィンドウを有効にします。
	オフ	ズームエリアウィンドウを無効にします。
顕微鏡*		顕微鏡を使用する場合に、映像の各設定を最適化します。(「顕微鏡を通して投写する」P.32 参照)
	オン	顕微鏡を使用するのに適した映像設定にします。
	<b>オフ</b>	通常の映像設定に戻します。
ノイズ除去		カメラ映像のノイズ除去に関する設定をします。
	<b>オン</b>	ノイズ除去を有効にします。映像のノイズが気になる場合は [オン] に設定します。
	オフ	ノイズ除去を無効にします。投写映像の遅れが気になる場合は、[オフ] を選択してください。

設定項目	選択項目	説明
詳細設定		カメラ映像の詳細設定を行います。
	露出補正	投写映像の光量を調整します。投写映像が暗い、または明るすぎて色が飛んでしまうときなどに使用します。暗い場合はプラスに、明るすぎる場合はマイナスに設定します。
	コントラスト	映像の明暗の差を調整します。プラスに設定するとメリハリのある映像に、マイナスに設定すると単調な映像にします。
	カラー調整	映像全体の赤み、青みを調整します。
	輪郭強調	映像の輪郭部分の強調を調整します。プラスに設定するとシャープな映像に、マイナスに設定するとソフトな映像にします。
	ガンマ	画像を表示するときに生じる微妙な発色の違いを調整します。数値が小さいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。数値が大きいと、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像にします。
初期化		[映像設定] メニューの設定値を初期化します。

## 機能設定メニュー

太字はお買い上げ時の設定です。

※は電源を切るとお買い上げ時の設定に戻る項目です。

設定項目	選択項目	説明
USB モード※		USB ケーブルで接続時の書画カメラの動作を変更します。
	<b>アプリケーション</b>	USB メモリーや書画カメラソフトウェアを使用できます。電源をオンにしたときは、常にこの設定になります。
	マストレージ	コンピューターから書画カメラの内蔵メモリーの映像を見ることができます。
外部マイク音量		外部マイクからの録音音量を調整します。

設定項目	選択項目	説明
HDMI 出力		HDMI 接続時の出力解像度を設定します。
	<b>オート</b>	出力機器の解像度に合わせて自動設定されます。
	SDTV (480p)	
	HDTV (720p)	
	HDTV (1080p)	
解像度切り替え		[映像出力] 端子からの出力解像度を設定します。
	<b>オート</b>	出力機器の解像度に合わせて自動設定されます。
	XGA 1024 × 768	
	WXGA 1280 × 800	
	WXGA 1360 × 768	
	SXGA 1280 × 1024	
	Full HD 1920 × 1080	
ビデオ方式		ビデオ出力形式を選択します。
	<b>NTSC</b>	
	PAL	
フリッカ補正		異なる配電系統の地域で使用する場合にフリッカー（ちらつき）を軽減します。
	<b>50Hz</b>	
	60Hz	
言語		オンスクリーンメニューの言語を変更します。
スリープモード		無操作のときの動作を設定します。
	<b>オン</b>	無操作が一定時間経過すると、自動的に電源がオフになります。
	<b>オフ</b>	無操作で放置しても、電源はオンのままです。
スリープモード時間	1 ～ 6 時間	無操作から電源をオフするまでの時間を設定します。

## メモリーメニュー

設定項目	選択項目	説明
2 画面表示		書画カメラの内蔵メモリーや SD カード、USB メモリー、ライブ映像を 2 つの画面で同時に投写します。
	左画面	左側に投写する映像を選択します。
	右画面	右側に投写する映像を選択します。
内蔵メモリー		内蔵メモリーに関する操作をします。
	SD カードに転送	選択した映像を SD カードに転送します。
	USB メモリーに転送	選択した映像を USB メモリーに転送します。
	再生 / スライドショー	選択した映像をスライドショーで表示します。
	全選択	内蔵メモリー内の全ての映像を選択します。
	消去	選択された映像を消去します。
	回転	選択した映像を時計回りに 90° 回転させて保存します。
SD カード		SD カードに関する操作をします。
	インポート	選択した映像を書画カメラの内蔵メモリーへ取り込みます。
	再生 / スライドショー	選択した映像をスライドショーで表示します。
	全選択	内蔵メモリー内の全ての映像を選択します。
	消去	選択された映像を消去します。
	回転	選択した映像を時計回りに 90° 回転させて保存します。
	USB メモリー	
インポート		選択した映像を書画カメラの内蔵メモリーへ取り込みます。
再生 / スライドショー		選択した映像をスライドショーで表示します。
全選択		内蔵メモリー内の全ての映像を選択します。
消去		選択された映像を消去します。
回転		選択した映像を時計回りに 90° 回転させて保存します。

## 情報メニュー

設定項目	説明
メモリ空き容量	空き容量：書画カメラの内蔵メモリーの空き容量を表示します。 総容量：書画カメラの内蔵メモリーの総容量を表示します。
ファイル数	書画カメラの内蔵メモリーに保存されているファイル数を表示します。
Version xx	書画カメラのファームウェアバージョンを表示します。

# 同梱ソフトウェアを使用する

同梱のソフトウェアでは、書画カメラの映像を静止画像としてキャプチャーしたり、間欠撮影や音声付きの動画を録画できます。さらに、キャプチャーしたファイルの編集や再生も行えます。また、書画カメラの映像にテキストやグラフィックの注釈を付けたり、動画をウェブサイトアップロードすることもできます。

以下の操作手順に従って、ソフトウェアをインストールしてください。

## メモ

以下のいずれかの方法でソフトウェアのヘルプを見ることができます。

Windows：[F1] を押すか、[その他] メニューから [アプリケーションヘルプ] を選択します。

Mac OS X：メニューバーから [ヘルプ] を選択します。

---

## ソフトウェアをインストールする

Windows または Mac OS X コンピューターにソフトウェアをインストールします。ソフトウェアの動作条件については、「仕様」P.75 を参照してください。

- 1** コンピューターに「EPSON Document Camera Software」CD-ROM をセットします。
- 2** 使用許諾画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3** 画面の指示に従い、インストールします。

## メモ

[Button Manager]、[TWAIN Driver for Epson Document camera] をインストールする画面が表示されたら、画面の指示に従いインストールしてください。[Button Manager]、[TWAIN Driver for Epson Document camera] をインストールしないと、コンピューターから書画カメラの操作ができません。



# ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアをアンインストールするときは、以下の操作手順に従ってください。

## Windows 8 の場合

- 1** チャームで [検索] を選択して、[ArcSoft Application Software for Epson Document Camera] を右クリック（長押し）します。
- 2** アプリバーで [アンインストール] を選択します。
- 3** [ArcSoft Application Software for Epson Document Camera] を選択して [アンインストール] を選択します。

## Windows 7/Windows Vista/Windows XP の場合

- 1** Windows 7/Windows Vista：[コントロールパネル] > [プログラムと機能] を選択します。クラシック表示のときは、[プログラム] > [プログラムのアンインストール] を選択します。  
Windows XP：[コントロールパネル] > [プログラムの追加と削除] を選択します。
- 2** [ArcSoft Application Software for Epson Document Camera] を選択します。
- 3** Windows 7/Windows Vista：[アンインストールと変更] をクリックします。  
Windows XP：[変更と削除] をクリックします。

## Mac OS X の場合

- 1** [アプリケーション] フォルダーを開きます。
- 2** [ArcSoft Application Software for Epson Document Camera] を [ゴミ箱] へドラッグします。

# ソフトウェアを起動する

**1** 「コンピューターに接続する」P.21 を参照して、書画カメラを USB ケーブルでコンピューターに接続します。

**2** ソフトウェアを起動します。

- Windows 8 : チャームを表示して、[検索] > [ArcSoft Application Software for Epson Document Camera] の順に選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP : [プログラム] または [すべてのプログラム] から [ArcSoft Application Software for Epson Document Camera] を選択します。
- Mac OS X : [アプリケーション] フォルダを開いて、「ArcSoft Application Software for Epson Document Camera」をダブルクリックします。

以下の画面が表示されます。

## メモ

書画カメラが見つからないという内容のメッセージが表示された場合は、書画カメラが正しく接続され、電源が入っていることを確認してください。続いて、画面右上にある [接続] ボタンをクリックしてください。



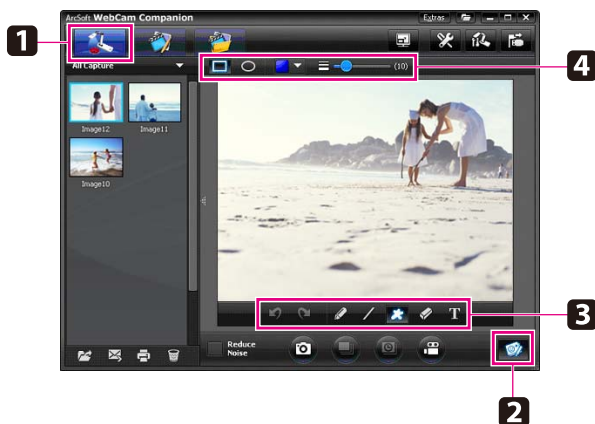
# 画像の注釈

プレゼンテーション中に書画カメラの映像にテキストまたはグラフィックの注釈を付けることができます。映像をキャプチャーしたときは、追加した注釈がその画像に含まれた状態で保存されます。ビデオを録画したときは、注釈を追加している様子がそのまま録画されます。

## メモ

[編集] 画面を使用して、キャプチャー済みの静止画像に注釈を追加することもできます（「保存したファイルを編集する」P.63 参照）。

- 1 [キャプチャ] ボタンをクリックして、キャプチャーモードに切り替えます。プレビューエリアにカメラ映像が表示されます。
- 2 [ライブ注釈] ボタンをクリックします。



- 3 [ペン]、[線]、[テキスト] などの描画ツールを選択します。
- 4 選択したツールのプロパティーを変更します。
- 5 テキストやグラフィックを追加します。
- 6 注釈を消去するには、[消しゴム] ツールを使うか、[元に戻す] ボタンをクリックして直前の追加を削除します。すべての注釈を消去するには、[消しゴム] ツールを選択して、プレビューエリア上部の [すべてクリア] ボタンをクリックします。

# 静止画像をキャプチャーする

静止画像または連続画像（連写）をキャプチャーすることができます。

- 1** 必要な設定を行います。[設定] ボタンをクリックして、[画像] タブを選択します。
  - デフォルト画像フォーマットや画質レベルなどのプロパティを選択します。
  - 連写する写真の枚数を選択します（最大 10 枚、初期値 5 枚）。
- 2** 静止画像をキャプチャーする場合は、[写真撮影] ボタンをクリックします。
- 3** 連続画像をキャプチャーする場合は、[バースト] ボタンをクリックします。



キャプチャーした画像は、画面左のキャプチャーアルバムに表示されます。キャプチャーした画像をプロジェクターで投写するには、画像をダブルクリックするか、右クリックして [プレビュー] を選択します。

# 間欠撮影する

長時間に渡って変化する様子を観察するには、間欠撮影で録画します。

**1** [設定] ボタンをクリックして、[低速度撮影] タブを選択します。

- 各フレームの撮影間隔を設定します（最短 5 秒）。
- 合計録画時間を設定します（最長 72 時間）。

[設定] 画面を閉じるには、[OK] をクリックします。

**2** [低速度撮影の開始] ボタンをクリックすると、録画を開始します。



録画が終了すると、動画または画像のアイコンが画面左のキャプチャーアルバムに表示されます。録画した動画をプロジェクターで投写するには、アイコンをダブルクリックするか、右クリックして [プレビュー] を選択します。

# 動画を録画する

プレゼンテーションの音声を含めた状態で動画を録画することができます。  
Full HD (1920 × 1080) 以下の解像度を設定してください。

- 1** 必要な設定を行います。[設定] ボタンをクリックして、[ビデオ] タブを選択します。
  - デフォルト動画フォーマットや画質レベルなどのプロパティーを選択します。
  - 最長録画時間（最長 8 時間）を設定し、ハードディスクの空き容量を確認します。
- 2** 音声を録音するには、[設定] ボタンをクリックして、[オーディオ] タブを選択し、[オーディオデバイス] から [ELPDC12] を選択します。
- 3** [ビデオの録画] ボタンをクリックすると、録画が開始されます。録画を停止するには、再度 [ビデオの録画] ボタンをクリックします。

書画カメラの [録画] ボタンを押しても、動画の録画を開始 / 停止します。

## メモ

書画カメラの [録画] ボタンで録画を開始するには、お使いのコンピューターに Button Manager をインストールし、起動している必要があります。



録画した動画のアイコンが画面左のキャプチャーアルバムに表示されます。録画した動画をプロジェクターで投写するには、アイコンをダブルクリックするか、右クリックして [プレビュー] を選択します。

コンピューターに接続している場合、2 台の書画カメラを同時に使用することはできません。


録画中は USB ケーブルを絶対に取り外さないでください。

# 保存できるファイルフォーマット

形式	拡張子
画像	.jpg/.bmp
動画	Windows : .wmv (WMV2+WMA) .avi (YUV+PCM) .mpg (MPEG Video+MPEG Audio) Mac OS X : .mov (Motion JPEG+PCM)

## 保存したファイルを編集する

[編集] 画面では、録画した映像・動画の明るさやコントラスト調整などの編集を行います。静止画像の場合、画像のズームイン、回転、反転が可能です。静止画像には、注釈を付けることもできます。また、動画再生中に再生を一時停止して、表示しているフレームを静止画像としてキャプチャーすることができます。


**1**  [編集] ボタンをクリックして、[編集] モードに切り替えます。

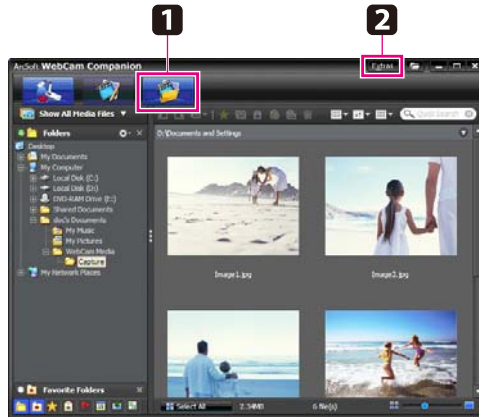


**2** 以下のいずれかの方法でソフトウェアのヘルプを見ることができます。  
Windows : [F1] を押すか、[その他] メニューから [アプリケーションヘルプ] を選択します。  
Mac OS X : メニューバーから [ヘルプ] を選択します。

# 保存したファイルを管理する

[ファイルの管理] 画面では、キャプチャーした画像や録画した動画をソートしたり、保存場所を指定したりできます。ファイルの評価したり「タグ」または説明文を追加しておく、後でそのファイルを探しやすくなります。

- 1  [ファイルの管理] ボタンをクリックして、[ファイルの管理] モードに切り替えます。



- 2 以下のいずれかの方法でソフトウェアのヘルプを見ることができます。  
Windows : [F1] を押すか、[その他] メニューから [アプリケーションヘルプ] を選択します。  
Mac OS X : メニューバーから [ヘルプ] を選択します。




# 動画をアップロード・共有する

録画した動画を、YouTube や SchoolTube などの動画共有ウェブサイト簡単にアップロードできます。

## メモ

この機能は、Apple Macintosh システムでは利用できません。

**1**  [編集] ボタンをクリックします。



**2** 動画を選択します。

**3** ウェブサイトを選択します。


**4** 画面の指示に従ってログインし、動画のタイトルや説明文などを入力後、ファイルをアップロードします。

# 困ったときは

## 問題と対処方法

### 操作に関するトラブル

#### 映像が出ない

- [⏻] 電源ボタンを押して映像が表示されるまでしばらくお待ちください。書画カメラの映像が投写されるまで約 20 秒かかります。
- プロジェクターが「プロジェクターに接続する」P.19 の手順どおりに接続されているか確認してください。  
プロジェクターがコンピューター経由で接続されているときは、「コンピューターに接続する」P.21 を参照してください。
- ノートパソコンを接続している場合は、「ノートパソコン接続時のトラブル」P.69 を参照してください。
- コンピューターの映像を表示するよう書画カメラが設定されていませんか？  
書画カメラのライブ映像を投写するには、書画カメラまたはリモコンの [入力切替] - [  ] ボタンを押してください。
- プロジェクターの入力ソースを正しく選択してください。（プロジェクターに添付の「取扱説明書」）
- プロジェクターの電源が入っていること、スリープモード中でないことを確認してください。また、プロジェクターの映像が「ミュート」またはオフになっていないことを確認してください。
- USB ケーブルで接続している場合、書画カメラの [USB モード] 設定が [マスタートレージ] に設定されている可能性があります。この設定を、[アプリケーション] に変更する必要があります。まず、USB ケーブルを取り外してから、コンピューターケーブルやコンポジットケーブル、HDMI ケーブルでプロジェクターを接続してください。[メニュー] ボタンを押して [機能設定] > [USB モード] を選択し、[アプリケーション] に設定変更します。これで USB ケーブルを使って映像を投写することができます。

# 映像に関するトラブル

## 映像がぼやける、ピントが合わない

- 暗い被写体やコントラストが低い場合は書画カメラのオートフォーカスではピントが合わないことがあります。[映像設定] メニューの [フォーカス] でフォーカス調整を手動で行ってください（「映像設定メニュー」 P.50 参照）。
- 被写体がカメラレンズから 10cm 以上離れていることを確認してください。
- プロジェクターを使用している場合は、プロジェクターのピントが合っているかどうかを確認してください。

## 画像の明るさまたは色が正しくない

- カメラヘッド横の [☀] LED ランプスイッチをスライドして、書類などの被写体を照らしてください。
- 映像の明るさを調整するには、[※] ボタンまたは [☀] ボタンを押します。
- ホワイトバランスを自動調整するには、[ホワイトバランス] 設定を [オート] に設定します（「映像設定メニュー」 P.50 参照）。それでも色が正しくない場合は、お使いの環境に合わせて [ホワイトバランス] を設定してください。
- 書画カメラを顕微鏡に接続して使用した後は、通常の使用する前に必ず [顕微鏡] 設定を [オフ] にしてください（「映像設定メニュー」 P.50 参照）。

## その他の映像のトラブル

- 映像が伸びたり、映像に黒いバーが表示されたときは、[機能設定] メニューの [解像度切り替え] を変更する必要があります。

### メモ

すべての映像設定を初期値に戻す場合は、[初期化] オプションを使用してください（「映像設定メニュー」 P.50 参照）。（[解像度切り替え] の設定は初期化されません。）

# SD カード、USB メモリー使用に関するトラブル

## 特定の画像が表示されない

コンピューターから書画カメラの内蔵メモリーや SD カード、USB メモリーへ画像をコピーするときは、ファイル形式を確認してください。

- 画像のファイル形式は、デジタルカメラなどから表示される DCF 準拠 JPEG ファイルである必要があります。画像の編集はしないでください。ファイル形式が変更され、表示できなくなる場合があります。
- 画像は「ABCD1234.JPG」という形式で名前が付けられます。「ABCD」は任意の半角英文字の組み合わせ、「1234」は任意の半角数字の組み合わせとなります。(例：「Pict0001」、「Pict0002」など)
- 画像は「DCIM¥123ABCDE」という名前のフォルダーに保存されている必要があります。「123」は任意の半角数字の組み合わせ、「ABCDE」は任意の半角英文字の組み合わせとなります。このフォルダーが存在しない場合は、まず DCIM という名前のフォルダーを作成してから、上記条件に沿った任意の名前でフォルダーを作成します。(例：「100EPSON」)

## 画像ファイルに正しいタイムスタンプがない

書画カメラは内蔵時計を搭載していません。そのため、コンピューターからファイルを表示した場合、そのファイルが保存された日時を表示できません。

# USB メモリー使用に関するトラブル

## USB メモリーの映像が表示されない

書画カメラの [USB モード] が [マストレージ] に設定されている可能性があります。[メニュー] ボタンを押して [機能設定] > [USB モード] を選択し、[アプリケーション] に設定変更します。

## USB メモリーに映像が保存されない

書画カメラの [USB モード] が [マストレージ] に設定されている可能性があります。[メニュー] ボタンを押して [機能設定] > [USB モード] を選択し、[アプリケーション] に設定変更します。

## 画像ファイルに正しいタイムスタンプがない

書画カメラは内蔵時計を搭載していません。そのため、コンピューターからファイルを表示した場合、そのファイルが保存された日時を表示できません。

## ノートパソコン接続時のトラブル

ノートパソコンに接続（「コンピューターに接続する」P.21 参照）したが映像がスクリーンに表示されない場合は、次のことを確認してください。

### ■ Windows の場合

[Fn] キーを押したまま、ファンクションキー（☺/○または CRT/LCD）を押すと、外部モニターに映像が表示されます。多くのシステムでは、☺/○または CRT/LCD キーにより LCD 画面とプロジェクターを切り換えるか、または両方同時に表示させることができます。

コンピューターのモニター設定で、LCD 画面と外部モニターポートが両方とも使用可能であることを確認してください。詳細については、コンピューターの取扱説明書またはオンラインヘルプを参照してください。

### ■ Mac OS X の場合

Apple メニューから [システム環境設定] を選択して、[ディスプレイ] をクリックします。[VGA ディスプレイ] または [カラー LCD] を選択します。調整をクリックして、[ディスプレイをミラーリング] にチェックが付いていることを確認します。

## 書画カメラソフトウェア使用時のトラブル

### 書画カメラのボタンがソフトウェアで動作しない

ソフトウェアのインストール時に [Button Manager] と [TWAIN Driver for Epson Document camera] がインストールされていません。必ず [Button Manager] と [TWAIN Driver for Epson Document camera] をインストールするように、再度すべてのソフトウェアをインストールしてください。

### コンピューターで書画カメラのライブ映像が見えない

書画カメラの [USB モード] 設定が [マスストレージ] に設定されている可能性があります。この設定を、[アプリケーション] に設定変更する必要があります。まず、USB ケーブルを取り外してから、コンピューターケーブル、コンポジットビデオケーブル、または HDMI ケーブルでプロジェクターを接続してください。[メニュー] ボタンを押して [機能設定] > [USB モード] を選択し、[アプリケーション] に設定変更します。これで USB ケーブルを使って映像を投写することができます。

# エプソンプロジェクター連絡先リスト

日本国外に持ち出してご使用中に万一不具合のあったときは、下記の連絡先にお問い合わせください。

この連絡先リストは 2012 年 8 月現在のものです。最新の連絡先は各連絡先の Web Home Page を参照してください。

それらの記載が無い場合はメインの [www.epson.com](http://www.epson.com) をご覧ください。

## < EUROPE, MIDDLE EAST & AFRICA >

### ALBANIA :

#### ITD Sh.p.k.

Gjergji Center  
Rr Murat Toptani  
04000 Tirana  
Albania

Tel: 00355 4 2256031

Fax: 00355 4 2256013

<http://www.itd-al.com>

### AUSTRIA :

#### Epson Deutschland GmbH

Buopark Donau Inkustrasse  
1-7 / Stg. 6 / 2. OG  
A-3400 Klosterneuburg  
Austria

Tel: +43 (0) 2243 - 40 181 - 0

Fax: +43 (0) 2243 - 40 181 - 30

<http://www.epson.at>

### BELGIUM :

#### Epson Europe B.V. Branch office Belgium

Belgicastraat 4 - Keiberg,  
B-1930 Zaventem  
Belgium

Tel: +32 2/ 7 12 30 10

Fax: +32 2/ 7 12 30 20

Hotline: 070 350120

<http://www.epson.be>

### BOSNIA AND

#### HERZEGOVINA :

#### NET d.o.o. Computer Engineering

Vukovarska 24  
88000 Mostar  
Bosnia and Herzegovina  
Tel: 00387 36449660  
Fax: 00387 36449669  
E-mail: [info@net.com.ba](mailto:info@net.com.ba)  
<http://www.net.com.ba>

### BULGARIA :

#### Epson Service Center Bulgaria

c/o ProSoft Central Service  
Akad. G. Bonchev SRT. bl.6  
1113 Sofia, Bulgaria  
Tel: 00359 2 979 30 75  
Fax: 00359 2 971 31 79  
E-mail: [info@prosoft.bg](mailto:info@prosoft.bg)  
<http://www.prosoft.bg>

### CROATIA :

#### MR servis d.o.o.

Dugoselska cesta 5  
10370 Rugvica, Croatia  
Tel: 00385 16401111  
Fax: 03485 13654982  
E-mail: [info@mrservis.hr](mailto:info@mrservis.hr)  
<http://www.mrservis.hr>

### CYPRUS :

#### Mechatronic Ltd.

88 Digenis Akritis Avenue  
"Loizides Centre 2" 2nd  
Floor  
CY-1061 Nicosia, Cyprus  
Tel: 00357 22582258  
Fax: 00357 22582222  
<http://www.mechatronic.com.cy>

### CZECH REPUBLIC :

#### Epson Europe B.V. Branch Office Czech Republic

Slavickova 1a 63800 Brno  
Czech Republic  
Hotline: 800 142 052  
E-mail: [infoline@epson.cz](mailto:infoline@epson.cz)  
<http://www.epson.cz>

### DENMARK :

#### Epson Denmark

Transformervej 6  
2730 Herlev, Denmark  
Tel: 44508585  
Fax: 44508586  
Hotline: 80808047  
E-mail: [denmark@epson.dk](mailto:denmark@epson.dk)  
<http://www.epson.dk>

**ESTONIA :**

**Epson Service Center  
Estonia**  
c/o Kulbert Ltd.  
Sirge 4,  
10618 Tallinn, Estonia  
Tel: 00372 671 8160  
Fax: 00372 671 8161  
<http://www.epson.ee>

**FINLAND :**

**Epson Finland**  
Rajatorpantie 41 C FI-01640  
Vantaa, Finland  
Hotline: 0201 552090  
<http://www.epson.fi>

**FRANCE & DOM-TOM  
TERRITORY :**

**Epson France S.A.**  
120 rue Victor Hugo BP 320  
95305 Levallois Perret  
Cedex, France  
Hotline: 0821017017  
<http://www.epson.fr>

**GERMANY :**

**Epson Deutschland  
GmbH**  
Otto-Hahn-Strasse 4 D-  
40670 Meerbusch, F.R.  
Germany  
Tel: +49-(0) 2159-538 0  
Fax: +49-(0) 2159-538 3000  
Hotline: 01805 2341 10  
<http://www.epson.de>

**GREECE :**

**Oktabit S.A.**  
Gounari 26,  
15343 Agia Paraskevi  
Greece  
Tel: 0030 210 6067181  
Fax: 0030 210 6067180  
<http://www.oktabitgr.com>

**HUNGARY :**

**Epson Europe B.V.  
Branch Office Hungary**  
Infopark Setany 1.  
HU-1117 Budapest, Hungary  
Hotline: 06 800 14 783  
E-mail: [infoline@epson.hu](mailto:infoline@epson.hu)  
<http://www.epson.hu>

**IRELAND :**

**Epson (UK) Ltd.**  
Westside, London Road  
Hemel Hempstead  
Herts HP3 9TD, U.K.  
Hotline: 01 679 9015  
<http://www.epson.ie>

**ISRAEL :**

**Epson Israel**  
2 Habonim st.  
Ramat Gan, Israel  
Tel: +972-3-5751833  
Fax: +972-3-575161  
<http://www.epson.co.il>

**ITALY :**

**Epson Italia s.p.a.**  
Via M. Vignano de Vizzi, 93/  
95  
20092 Cinisello Balsamo  
Mirano, Italy  
Tel: +39 02. 660321  
Fax: +39 02. 6123622  
Hotline: +39 06.60521503  
<http://www.epson.it>

**KAZAKHSTAN :**

**Epson Kazakhstan  
Rep. Office**  
97, Samal-2, bldg A1, 5th  
floor  
Business Center  
"Samal Towers"  
Almaty 050051, Kazakhstan  
Tel: +7 727 3560260  
Fax: +7 727 3560260  
<http://www.epson.kz>

**LATVIA :**

**Epson Service Center  
Latvia**  
c/o ServiceNet LV  
Jelgavas 36  
1004 Riga, Latvia  
Tel: 00 371 746 0399  
Fax: 00 371 746 0299  
<http://www.epson.lv>

**LITHUANIA :**

**Epson Service Center  
Lithuania**  
c/o ServiceNet  
Gaiziunu 3  
50128 Kaunas, Lithuania  
Tel: 00 370 37 400 160  
Fax: 00 370 37 400 161  
<http://www.epson.lt>

**LUXEMBURG :**

**Epson Europe B.V.  
Branch office Belgium**  
Belgicastraat 4-Keilberg  
B-1930 Zaventem  
Belgium  
Tel: +32 2/ 7 12 30 10  
Fax: +32 2/ 7 12 30 20  
Hotline: 0900 43010  
<http://www.epson.be>

**MACEDONIA :**

**Digit Computer  
Engineering**  
Bul. Partizanski Odredi  
62 Vlez II mezanin  
1000 Skopje, Macedonia  
Tel: 00389 2 3093393  
Fax: 00389 2 3093393  
E-mail: [digit@digit.com.mk](mailto:digit@digit.com.mk)  
<http://www.digit.com.mk>

**NETHERLANDS :**

**Epson Europe B.V.  
Benelux sales office**  
Entrada 701  
NL-1096 EJ Amsterdam  
Netherlands  
Tel: +31 20 592 65 55  
Fax: +31 20 592 65 66  
Hotline: 0900 5050808  
<http://www.epson.nl>

**NORWAY :**

**Epson Norway**  
Fjordveien 3  
1363 Høvik, Norway  
Tel: 4780030030  
E-mail: [ksbl@telenor.com](mailto:ksbl@telenor.com)  
<http://www.epson.no>

**POLAND :**

**Epson Europe B.V.  
Branch Office Poland**  
Ul. Bukwerska 66 PL-02-690  
Warszawa, Poland  
Hotline: (0) 801-646453  
<http://www.epson.pl>

**PORTUGAL :**

**Epson Ibérica S.A.U.  
Branch Office Portugal**  
Rua Gregorio Lopes, Lote  
1514, Restelo, 1400 Lisboa,  
Portugal  
Tel: 213035400  
Fax: 213035490  
Hotline: 707 222 000  
<http://www.epson.pt>

**ROMANIA :**

**Epson Europe B.V.**  
**Branch Office Romania**  
 Strada Ion Urdareanu nr. 34  
 Sector 5, 050688 Bucuresti  
 Romania  
 Tel: 00 40 21 4025024  
 Fax: 00 40 21 4025020  
<http://www.epson.ro>

**RUSSIA :**

**Epson CIS**  
 Schepkina street, 42,  
 Bldg 2A, 3rd floor  
 129110, Moscow, Russia  
 Tel: +7 (495) 777-03-55  
 Fax: +7 (495) 777-03-57  
<http://www.epson.ru>

**UKRAINE :**

**Epson Kiev Rep. Office**  
 Pimonenko street, 13,  
 Bldg 7B, Office 15  
 04050, Kiev, Ukraine  
 Tel: +38 (044) 492 9705  
 Fax: +38 (044) 492 9706  
<http://www.epson.ua>

**SERBIA :**

**AVG d.o.o. Beograd**  
 Prve pruge 31c  
 11080 Zemun, Beograd  
 Republic of Serbia  
 Tel: 00381 11 3191868  
 E-mail: [office@a-v-g.rs](mailto:office@a-v-g.rs)  
<http://www.a-v-g.rs>

**SLOVAKIA :**

**Epson Europe B.V.**  
**Branch Office**  
**Czech Republic**  
 Slavickova 1a 63800 Brno  
 Czech Republic  
 Hotline: 0850 111 429  
 (national costs)  
 E-mail: [infoline@epson.sk](mailto:infoline@epson.sk)  
<http://www.epson.sk>

**SLOVENIA :**

**Birotehna d.o.o.**  
 Litajska Cesta 259  
 1261 Ljubljana - Dobrunje  
 Slovenia  
 Tel: 00 386 1 5853 410  
 Fax: 00386 1 5400130  
 E-mail: [info@birotehna.si](mailto:info@birotehna.si)  
<http://www.birotehna.si>

**SPAIN :**

**Epson Ibérica, S.A.U.**  
 Av. de Roma, 18-26  
 08290 Cerdanyola del Vallès  
 Barcelona, Spain  
 Tel: 93 582 15 00  
 Fax: 93 582 15 55  
 Hotline: 902 28 27 26  
<http://www.epson.es>

**SWEDEN :**

**Epson Sweden**  
 Box 329 192 30 Sollentuna  
 Sweden  
 Tel: 0771-400134  
<http://www.epson.se>

**SWITZERLAND :**

**Epson Deutschland**  
**GmbH**  
**Branch office Switzerland**  
 Zweigniederlassung Kloten  
 Steinackerstrasse 34  
 CH-8302 Kloten  
 Switzerland  
 Tel: +41 (0) 43 255 70 20  
 Fax: +41 (0) 43 255 70 21  
 Hotline: 0848448820  
<http://www.epson.ch>

**TURKEY :**

**Tecpro Bilgi Teknolojileri**  
**Tic. ve San. Ltd. Sti.**  
 Telsizler Mah. Zincirliidere  
 Cad.No: 10 Kat 1-2  
 Kagithane 34410 Istanbul  
 Turkey  
 Tel: 0090 212 2684000  
 Fax: 0090 212 2684001  
 E-mail:  
[epson@tecpro.com.tr](mailto:epson@tecpro.com.tr)  
<http://www.tecpro.com.tr>

**UK :**

**Epson (UK) Ltd.**  
 Westside, London Road  
 Hemel Hempstead  
 Herts HP3 9TD, UK  
 Tel: (01442) 261144  
 Fax: (01442) 227227  
 Hotline: 08704437766  
<http://www.epson.co.uk>

**AFRICA :**

Contact your dealer  
 Email: [support@epson.co.za](mailto:support@epson.co.za)  
<http://www.epson.co.za>  
 or  
<http://www.epson.fr>

**SOUTH AFRICA :**

**Epson South Africa**  
 Grnd. Floor,  
 Durham Hse, Block 6  
 Fourways Office Park  
 Cnr. Fourways Blvd. & Roos  
 Str.  
 Fourways, Gauteng  
 South Africa  
 Tel: +27 11 465 9621  
 Fax: +27 11 465 1542  
 Helpdesk: 0860 337766  
 or +27 11 201 7741  
 Email: [support@epson.co.za](mailto:support@epson.co.za)  
<http://www.epson.co.za>

**MIDDLE EAST :**

**Epson (Middle East)**  
 P.O. Box: 17383 Jebel Ali  
 Free Zone Dubai  
 UAE (United Arab Emirates)  
 Tel: +971 4 88 72 1 72  
 Fax: +971 4 88 18 9 45  
 Email:  
[supportme@epson.eu](mailto:supportme@epson.eu)  
<http://www.epson.ae>



## < NORTH, CENTRAL AMERICA & CARIBBEAN ISLANDS >

### CANADA :

**Epson Canada, Ltd.**  
185 Renfrew Drive  
Markham, Ontario  
L3R 6G3  
Canada  
Tel: 905-709-9475  
or 905-709-3839  
<http://www.epson.ca>

### COSTA RICA :

**Epson Costa Rica, S.A.**  
De la Embajada Americana  
200 Sur y 300 Oeste  
Pavas, San Jose  
Costa Rica  
Tel: 800-EPSONCR  
(800-3776627)  
<http://www.epson.co.cr>

### MEXICO :

**Epson Mexico, S.A. de C.V.**  
Boulevard Manuel Avila  
Camacho 389  
Edificio 1, Conjunto Legaria  
Col Irrigación, C.P. 11500  
México, DF  
Tel: (52 55) 1323-2052  
/ (52 55) 1323-2096  
/ (52 55) 1323-2127  
<http://www.epson.com.mx>

### U. S. A. :

**Epson America, Inc.**  
3840 Kilroy Airport Way  
Long Beach, CA 90806  
USA  
Tel: 562-276-4394  
<http://www.epson.com>

### ECUADOR :

**Epson Ecuador**  
Tel: 604-4220 (Guayaquil)  
Tel: 04-604-4220  
(otras ciudades)  
<http://www.epson.com.ec>

## < SOUTH AMERICA >

### ARGENTINA :

**Epson Argentina S.R.L.**  
Ave. Belgrano 970  
(1092) Buenos Aires  
Argentina  
Tel: (5411) 5167-0300  
<http://www.epson.com.ar>

### CHILE :

**Epson Chile S.A.**  
La Concepción 322, Piso 3  
Providencia, Santiago, Chile  
Tel: (562) 484-3400  
<http://www.epson.cl>

### PERU :

**Epson Peru S.A.**  
Av. Canaval y Moreyra 590  
San Isidro, Lima, Perú  
Tel: (511) 418 0210  
<http://www.epson.com.pe>

### BRAZIL :

**Epson do Brasil**  
Av. Tucunaré,  
720 Tamboré Barueri,  
Sao Paulo, SP 06460-020  
Brazil  
Tel: (55 11) 3956-6868  
<http://www.epson.com.br>

### COLOMBIA :

**Epson Colombia Ltd.**  
Calle 100 No 19-54 Piso 7  
Bogota, Colombia  
Tel: (571) 523-5000  
<http://www.epson.com.co>

### VENEZUELA :

**Epson Venezuela S.A.**  
Calle 4 con Calle 11-1  
La Urbina Sur.  
Caracas, Venezuela  
Tel: (58 212) 240-1111  
<http://www.epson.com.ve>

## < ASIA & OCEANIA >

### AUSTRALIA :

**Epson Australia Pty. Ltd.**  
3 Talavera Road,  
North Ryde, NSW 2113,  
Australia  
Tel: 1300 361 054  
<http://www.epson.com.au>

### CHINA :

**Epson (China) Co., Ltd.**  
7F, Jinbao Building,  
No.89 Jinbao Street,  
Dongcheng District,  
Beijing,  
China, 100005  
Tel: (86-10) 85221199  
Fax: (86-10) 85221123  
Hotline: 400-810-9977  
<http://www.epson.com.cn>

### HONG KONG :

**Epson Hong Kong Ltd.**  
Unit 715-723, Trade Square,  
681 Cheung Sha Wan Road,  
Cheung Sha Wan, Kowloon,  
Hong Kong  
Support Hotline:  
(852) 2827 8911  
Fax: (852) 2827 4383  
<http://www.epson.com.hk>

**INDIA :**

**Epson India Pvt., Ltd.**  
12th Floor, The Millenia,  
Tower A,  
No. 1, Murphy Road,  
Ulsoor,  
Bangalore 560008  
India  
Tel: 1800 425 0011  
/1860 3000 1600  
<http://www.epson.co.in>

**INDONESIA :**

**PT. Epson Indonesia**  
Wisma Keiai, 16th Floor,  
Jalan Jenderal Sudirman  
Kav. 3,  
Jakarta 10220, Indonesia  
Tel: 021-5723161  
Fax: 021-5724357  
<http://www.epson.co.id>

**KOREA :**

**Epson Korea Co., Ltd.**  
11F Milim Tower,  
825-22 Yeoksam-dong,  
Gangnam-gu, Seoul,  
135-934 Korea  
Tel : 82-2-558-4270  
Fax: 82-2-558-4272  
<http://www.epson.co.kr>

**MALAYSIA :**

**Epson Malaysia Sdn. Bhd.**  
3rd Floor, East Tower,  
Wisma Consplant 1,  
No.2, Jalan SS 16/4,  
47500 Subang Jaya,  
Malaysia  
Tel: 03 56 288 288  
Fax: 03 56 212 088  
<http://www.epson.com.my>

**NEW ZEALAND :**

**Epson New Zealand**  
Level 2,  
7-9 Fanshawe Street,  
Auckland Central, 1010  
New Zealand  
Tel: 09 366 6855  
Fax: 09 366 6865  
<http://www.epson.co.nz>

**PHILIPPINES :**

**Epson Philippines Co.**  
8th Floor, Anson's Center,  
#23 ADB Avenue,  
Pasig City 1605,  
Philippines  
Tel: 632-7062609  
Fax: 632-7062663  
<http://www.epson.com.ph>

**SINGAPORE :**

**Epson Singapore Pte. Ltd.**  
1 HarbourFront Place,  
#03-02 HarbourFront Tower  
1,  
Singapore 098633  
Tel: 6586 3111  
<http://www.epson.com.sg>

**TAIWAN :**

**Epson Taiwan  
Technology & Trading Ltd.**  
14F, No. 7, Song Ren Road,  
Taipei, Taiwan  
Tel: (02) 8786-6688  
Fax: (02) 8786-6633  
<http://www.epson.com.tw>

**THAILAND :**

**Epson (Thailand) Co.,Ltd.**  
195 Empire Tower, 42nd  
Floor,  
South Sathorn Road,  
Yannawa, Sathorn,  
Bangkok 10120, Thailand  
Tel: 02 685 9888  
Fax: 02 685 9889  
<http://www.epson.co.th>

# 付録

## 仕様

### 本体仕様

商品名	ELPDC12		
外形サイズ	使用時：幅 270 × 高さ 331 × 奥行き 476mm 収納時：幅 340 × 高さ 124 × 奥行き 125mm		
カメラセンサー	1/2.7 型 CMOS センサー		
撮影レンズ	F=2		
有効画素数	2M ピクセル (1920 × 1080)		
撮影可能エリア	最大 29.7 × 52.5cm(1080p)		
フォーカス調整	自動 / 手動		
ズーム調整	電子ズーム 16 倍		
フレームレート	最大 30 フレーム / 秒		
内蔵メモリー	1GB		
内蔵マイク	1 個 (モノラル入力)		
電源	AC アダプター	100-240V AC ± 10%, 50/60Hz	
	ELPDC12	12VDC	
消費電力	動作時：13W 待機時：0.43W		
動作温度範囲	+5 ~ +35 °C (結露しないこと)		
保存温度範囲	-10 ~ +60 °C (結露しないこと)		
動作湿度範囲	20% ~ 80% RH (結露しないこと)		
保存湿度範囲	10% ~ 90% RH (結露しないこと)		
質量	約 2.8kg		
入力端子	PC 入力端子	1 系統	ミニ D-Sub 15pin (メス)
	マイク入力端子	1 系統	ステレオミニピンジャック (モノラル入力)

出力端子	映像出力端子	1 系統	ミニ D-Sub 15pin (メス) 出力：SXGA/WXGA(1280 × 800)/ WXGA(1360 × 768)/XGA/Full HD
	コンポジット出力端子	1 系統	RCA ピンジャック 出力：NTSC/PAL
	HDMI 出力端子	1 系統	HDMI 出力：SDTV (480p) / HDTV (720p、1080p)
接続端子	USB-A 端子*	1 系統	USB コネクタ (A タイプ)
	USB-B 端子*	1 系統	USB コネクタ (B タイプ) 出力：QVGA/VGA/SVGA/ SXGA/XGA
	SD カードスロット	1 系統	SD カード/SDHC カードに対応

※ USB2.0 に対応しています。ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

## ソフトウェアの動作条件

同梱のソフトウェアは、以下の条件を満たすコンピューターで動作します。

**Windows** : Microsoft Windows 8 32/64 ビット、Microsoft Windows 7 32/64 ビット、Windows Vista 32 ビット、Windows XP (SP3 以降)

**Mac OS X** : Mac OS X 10.5 ~ 10.8

**CPU** : Pentium 4 1.4GHz 以上 (Windows XP)  
Pentium 4 2.4GHz 以上 (Windows Vista、Windows 7)  
PowerPC G5 1.8GHz processor または Intel Core processor

**メモリー容量** : 512MB 以上

**ハードディスク容量** : インストール前に 300MB 以上の空き容量が必要

**ディスプレイ** : SVGA (800 × 600) 以上の解像度

# 著作権と商標について

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者「(お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります

## 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

## 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

## 瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

## 電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術機器です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 商標について

Apple、Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の商標です。


Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、PowerPoint および Windows ロゴ は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Arcsoft は、アークソフト株式会社の登録商標です。

ArcSoft Application Software for Epson Document Camera © 2013 ArcSoft, Inc. All rights reserved.

YouTube は、Google Inc. の登録商標です。

SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

HDMI と High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。 

本契約書で使用される他の製品名は、識別のみを目的としたものであり、それらのそれぞれの所有者の商標である場合があります。エプソンは、それらの商標におけるあらゆる権利を放棄します。

この情報は、予告なしに変更する場合があります。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2013. All rights reserved.

● **エプソンのホームページ** <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ(類)の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。  
**FAQ** <http://www.epson.jp/faq/>

● **プロジェクターインフォメーションセンター** 製品の操作方法・お取扱い等、技術的なお問い合わせに電話でお答えします。

**050-3155-7010** 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日:10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。

● **エプソンサービスコールセンター**

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

**050-3155-8600** 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

● **修理品送付・持ち込み依頼先**

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	電 話 番 号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソン/レア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-2-1 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070  
 ・鳥取修理センター:0857-77-2202 ・福岡修理センター:092-622-8922

● **引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先**

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様の希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、

修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。\*梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

\*平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。

\*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

\*年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。  
 上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各01印の電話番号におかけください  
 ますようお願いいたします。

● **ショールーム** \*詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F  
 【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

● **MyEPSON**

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすり最新情報をお届けしたり、フリタをもちっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。  
 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● **消耗品のご購入**

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。(2013年2月現在)

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/>)にてご確認ください。

**エプソン販売 株式会社** 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

**セイコーエプソン株式会社** 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5